

さいたま市総合振興計画改定のための
岩槻区区民意識調査
報告書

平成17年9月

さいたま市

目 次

1 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査の対象と方法、時期、回収状況	1

2 回答者の属性と調査結果の概要

(1) 回答者の属性.....	2
(2) 調査結果の概要	4

3 調査結果の分析

(1) さいたま市、岩槻区のイメージについて	6
現在のイメージ（問 1）	6
将来のイメージ（問 2）	9
(2) 暮らしを取り巻く環境について	10
生活環境の満足度（問 3）	10
通勤・通学先（問 4）	16
買い物や余暇の行き先と交通手段（問 5）	18
(3) 定住意向について	26
現在地に住んでいる理由（問 7）	26
今後の定住意向（問 8）	27
転居したい理由（問 9）	28
(4) 地域活動への参加状況について	29
隣近所との付き合いの程度（問 10）	29
地域活動への参加状況と今後の参加意向（問 11）	30
(5) 市政との関わりについて	32
市政への関心（問 12）	32
市民参加意向（問 13）	33
市民参加の現状（問 14）	34
市民参加の促進策（問 15）	35
(6) 保健・福祉について.....	36
高齢化社会対策（問 16）	36
子育て支援策（問 17）	37
障害のある人への支援策（問 18）	38

(7) 教育・文化について.....	39
生涯学習推進策(問 19)	39
市民文化の振興策(問 20)	40
(8) 産業や都市基盤について	41
産業振興方策(問 21)	41
都市基盤整備の重点(問 22)	42
交通対策(問 23)	43
(9) 環境保全や防災について	44
環境保全対策(問 24)	44
災害に強いまちづくりの重点(問 25)	46
(10) 市民と行政のコミュニケーションや行政運営について	47
充実を望む情報(問 26)	47
有効な情報提供手段(問 27)	49
(11) 区のまちづくりについて.....	50
区のまちづくりの重点(問 28)	50
まちづくりの資源(問 29)	52
目指すべき区の将来像(問 30)	53
(12) 自由意見	55

1 調査の概要

(1) 調査の目的

岩槻区は、平成 17 年 4 月、さいたま市の第 10 番目の区として誕生しました。

本調査は、さいたま市総合振興計画基本構想・基本計画（さいたま希望（ゆめ）のまちプラン）に定める「岩槻区の将来像」の策定にあたり岩槻区民の意見を反映することを目的として実施するものです。

(2) 調査の対象と方法、時期、回収状況

調 査 対 象：20 歳以上の区民から単純無作為抽出により選んだ 2,000 人

調 査 方 法：郵送配布・郵送回収

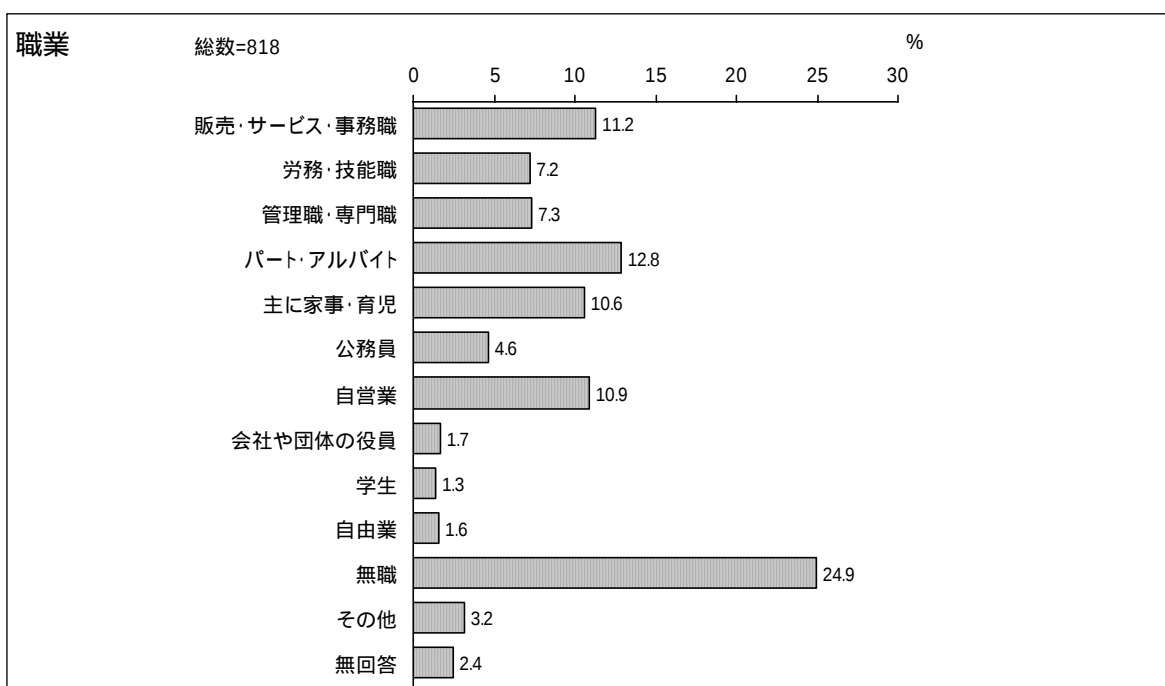
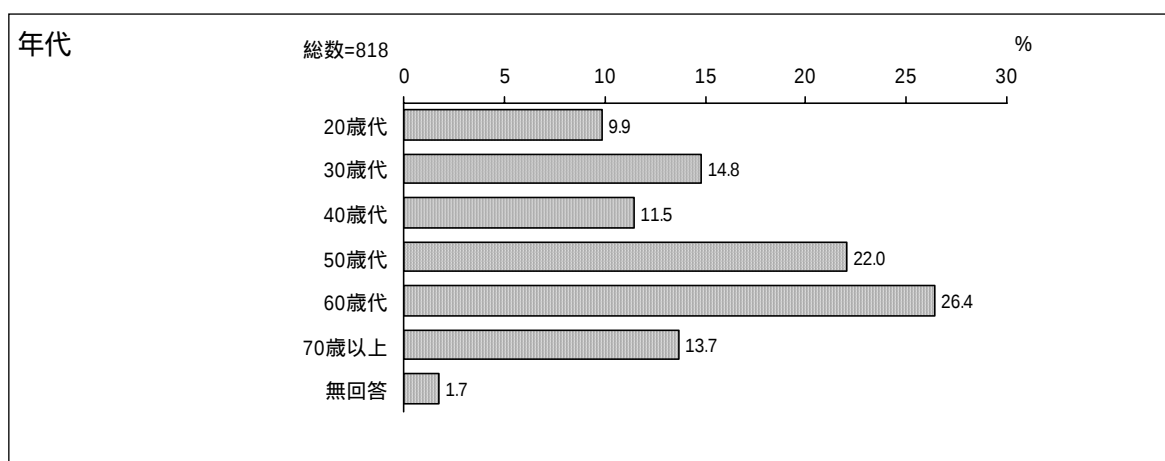
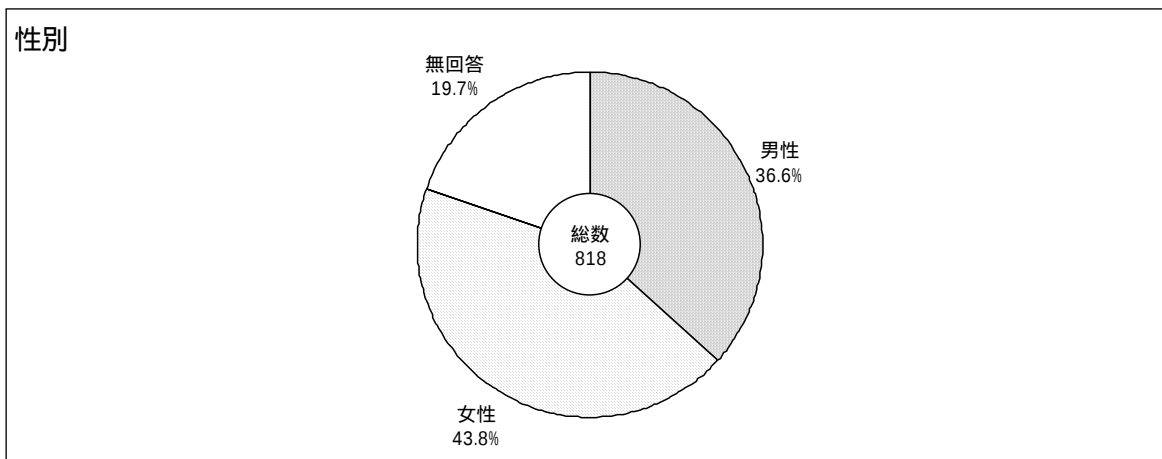
調 査 時 期：平成 17 年 6 月

有効回答率：41%（有効回収票数 818）

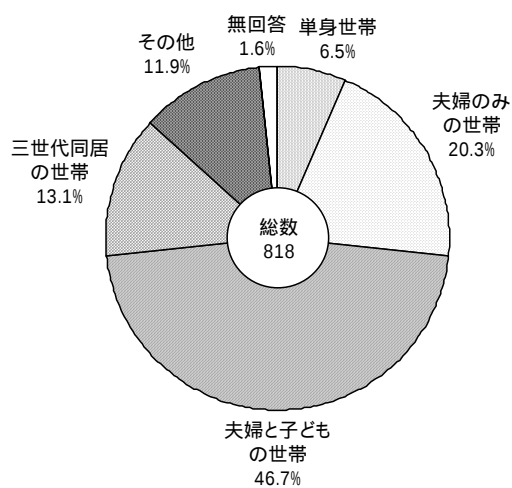
2 回答者の属性と調査結果の概要

(1) 回答者の属性

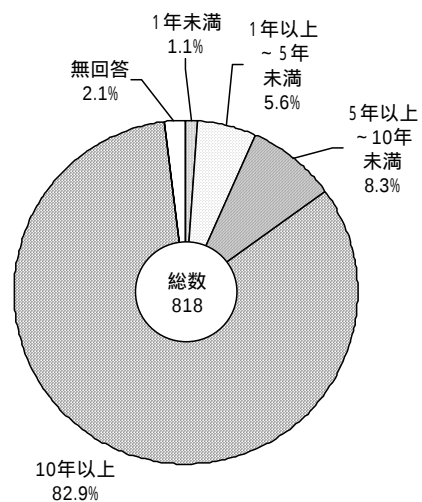
回答者の属性は次のとおりでした。



同居家族構成

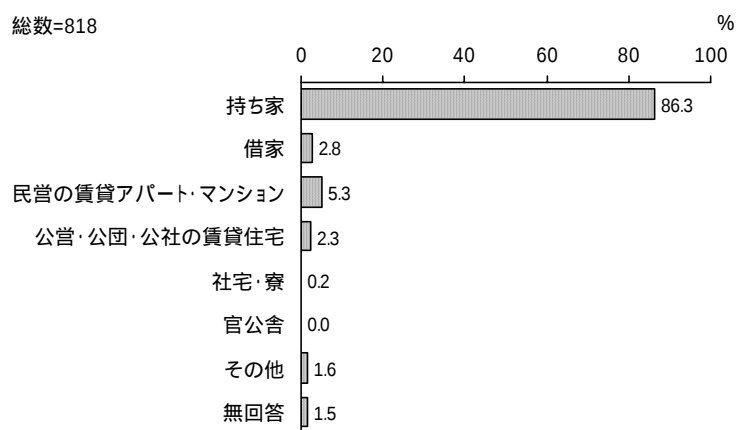


岩槻区での居住歴



住居形態

総数=818



(2) 調査結果の概要

緑に恵まれた環境都市

岩槻区には、緑と水辺が代表する自然の豊かさ、城下町、宿場町としての歴史、人形のまちとしてのブランド性などの特性がありますが、なかでも、区民にとって自然の豊かさは地域の個性、財産であると受け取られており、意識調査のなかでは、区の現状のイメージとして「自然豊かな」が、また、区の将来イメージにおいても「優れた環境のイメージ」がともに半数近い割合で第 1 位に挙げられているほか、めざすべき区の将来像としても「みどり豊かなまち」が半数を超える区民に支持されており、緑に恵まれた環境都市への期待が表れています。

しかし、生活環境の満足度では、緑の多さが高い評価を得ているものの、川のきれいさ、生き物とのふれあい、環境汚染からの安全性など、環境に関連する項目の満足度は低くなっており、緑や水辺空間の量的な充足に加えて、質的な面での向上も求められています。

高い定住意向、交通利便性の向上が課題

岩槻区で生まれ育った人は 20%程度で、結婚や家族の都合、自然環境のよさなどから住むようになった区民が多くを占めていますが、定住意向については、76%の人が「ずっと住み続けたい」あるいは「当分のあいだ住み続けたい」としており、定住意向は比較的高くなっています。

一方、住み続けたいと思わない人の転居希望理由として、交通の便が悪いことが第 1 位に挙げられているほか、生活環境においては、公共交通機関や身近な地域での道路など日常の交通手段について不満を感じる人の割合が高く、この 2 つが都市基盤整備の重点の上位 2 位をしめており、さらに、今後のまちづくりで重視すべきこととして、道路・交通の充実が第 2 位となっているなど、交通利便性の向上が求められています。

いつでも安心な医療と、自立や自己実現を支える福祉サービスを期待

長寿化や少子化が進むにつれ、生涯を安心して暮らすことのできる福祉の充実が強く求められるようになり、今回の意識調査においても、めざすべき区の将来像として「保健・福祉の充実したまち」が、「みどり豊かなまち」と並んで支持され、「子育ての楽しいまち」も若い層を中心に高い割合を占めています。

このなかで、保健に関連しては医療の充実を求める声が強く、今後のまちづくりで重視すべき点として、医療面の充実が第 1 位となっています。福祉に関連しては、高齢者福祉の領域で、年金など社会保障の充実、趣味やボランティアの機会の充実、働く場の充実などが、子育て支援の領域では、仕事と子育てを両立できる職場環境の整備、保育サービスの充実などが、障害者福祉の領域では、働きやすい職場づくりの促進や利用しやすい交通機関の整備などが重視されています。

区民の参加による、緑に包まれた福祉と交流のまちの実現

岩槻区の将来像としては、「みどり豊かな」まちが全年代を通じて半数以上の高い支持を集め、次いで「保健・福祉の充実した」まちが、年代の高い層を中心に、全体としては半数に近い高い支持を集めています。

また、緑豊かなまちと関連深い「快適性の優れた」まちについては区民の 3 人に 1 人の割合で、福祉の充実したまちに関連する「子育ての楽しい」まちについても、若い世代を中心に 3 人に 1 人の割合で支持されており、これらに続いて、地域の伝統文化や歴史性を軸に、区外からも人の集まる「交

流と賑わいの」まちが支持されています。こうした結果から、全体としては、豊かな緑に包まれ、安心して住まうことのできる福祉と、生き生きとした交流のあるまちが指向されていることがうかがえます。

福祉においても、また、地域の個性を生かしたまちづくりにおいても、区民と行政の協働が重要となりますが、今回の調査では区政に関心のある区民は7割近く、区政に参加したいと考える区民は6割近くにのぼり、今後、区民の参加を一層促進しながら、安心できる福祉と地域の個性を生かした交流の活発な、緑豊かなまちを実現していくことが求められています。

3 調査結果の分析

(1) さいたま市、岩槻区のイメージについて

現在のイメージ(問1)

あなたは、さいたま市全体をどのように感じていますか。また、そのうちの、岩槻区についてはいかがですか。次の1～14のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。

問1.市のイメージ

総数=818

単位: % (5%未満非表示)

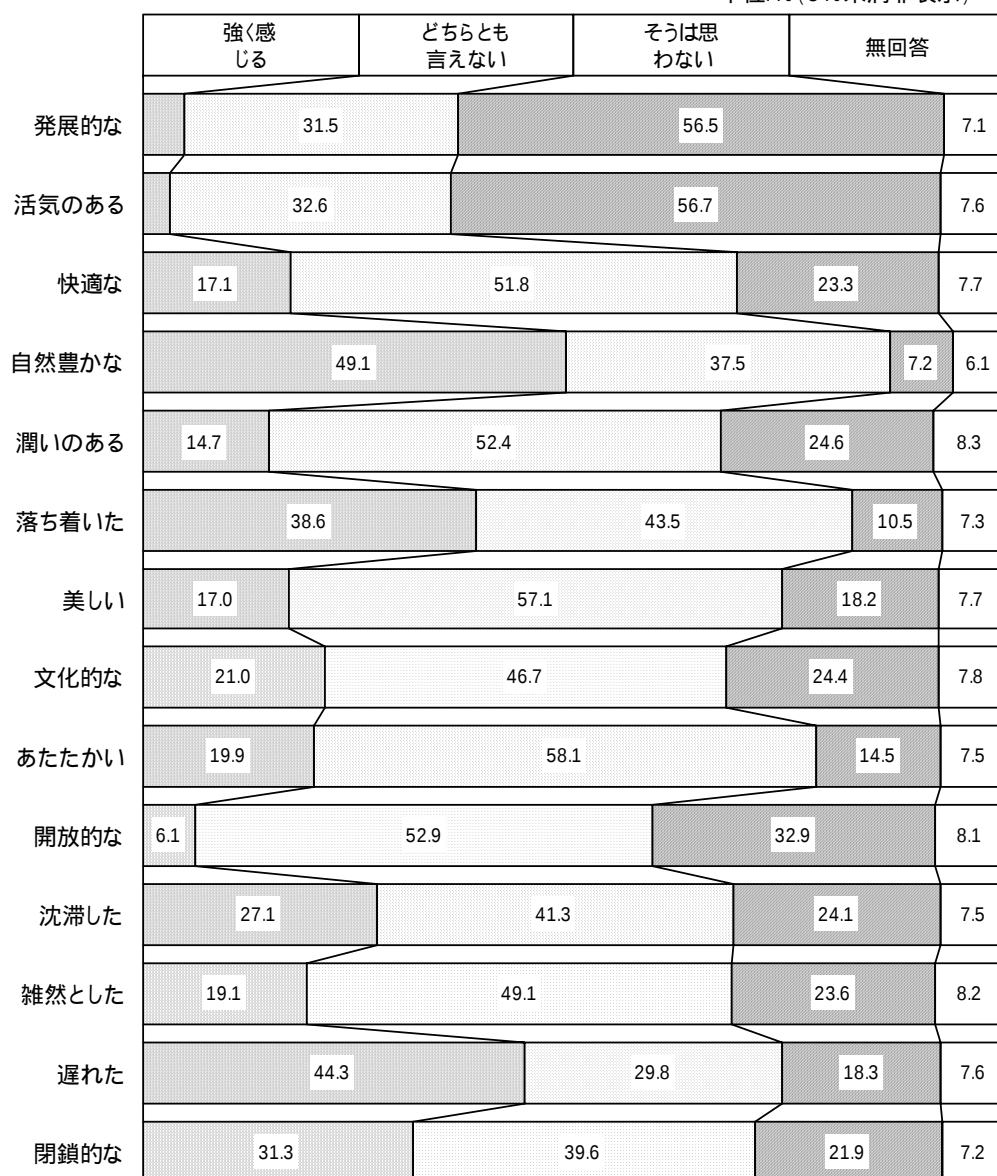
	強く感じる	どちらとも言えない	そうは思わない	無回答
発展的な	42.8	42.3	8.3	6.6
活気のある	37.2	46.3	9.2	7.3
快適な	13.4	59.3	19.3	7.9
自然豊かな	21.4	50.6	20.4	7.6
潤いのある	7.5	55.3	28.5	8.8
落ち着いた	9.4	53.2	29.1	8.3
美しい	10.5	57.7	24.0	7.8
文化的な	23.6	54.9	14.1	7.5
あたたかい	7.5	57.6	27.1	7.8
開放的な	14.1	60.6	17.2	8.1
沈滞した	5.7	50.4	34.8	9.0
雑然とした	19.1	52.2	20.9	7.8
遅れた	8.1	43.8	39.7	8.4
閉鎖的な	7.9	43.6	40.0	8.4

さいたま市のイメージについては、「発展的」で「活気のある」印象が強く、「閉鎖的な」「遅れた」「沈滞した」などの否定的な印象は弱くなっています。全体に、都市の活動的な面が強く感じられているといえます。同時に、「落ち着いた」「潤いのある」といった印象は薄く、活動的な魅力の反面も感じられています。

問1. 区のイメージ

総数=818

単位: % (5%未満非表示)



岩槻区のイメージについては、「遅れた」と感じられている一方、「自然豊か」と受け取られています。また、「閉鎖的」である一方、「落ち着いた」ものであるとも受け取られています。歴史のある、緑や水辺が豊かに残されたまちの特性が、肯定的な面、否定的な面の両方からイメージされています。

年代別に見ると、20代では「快適な」「文化的な」の割合が高く、「閉鎖的な」が低くなっているほか、全般的に、肯定的なイメージのキーワードについては、強く感じるとする割合が全体よりも高く、否定的なイメージについては低い傾向が見られます。

これに対して、50代では、「沈滞した」「閉鎖的な」の割合も高く、現状に対する厳しいイメージも見られます。

□現在のイメージ(問1):岩槻区 各項目の「強く感じる」割合(年代別)

単位: %、()内は回答者数

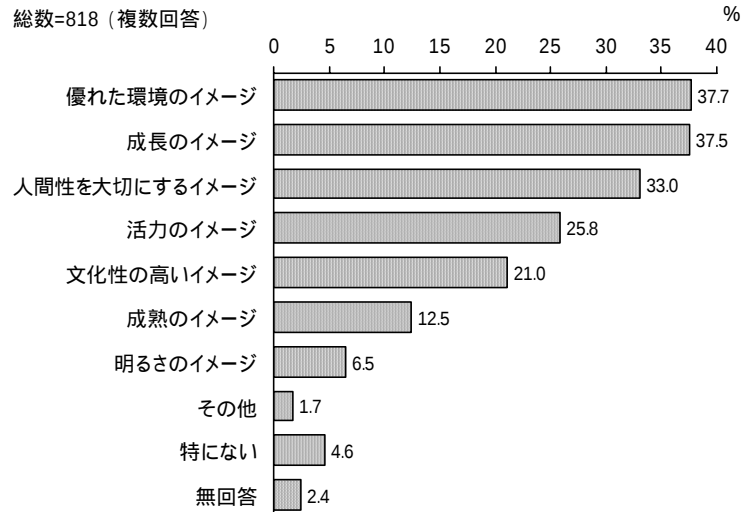
	全体 (818)	20代 (81)	30代 (121)	40代 (94)	50代 (180)	60代 (216)	70代以上 (112)
発展的な	4.9	3.7	5.8	2.1	4.4	3.2	8.0
活気のある	3.1	6.2	2.5	1.1	2.2	2.3	4.5
快適な	17.1	27.2	20.7	17.0	11.7	13.4	20.5
自然豊かな	49.1	53.1	47.9	50.0	50.6	50.9	43.8
潤いのある	14.7	17.3	10.7	10.6	17.8	14.8	16.1
落ち着いた	38.6	46.9	44.6	41.5	43.3	28.7	37.5
美しい	17.0	14.8	16.5	12.8	20.6	17.6	16.1
文化的な	21.0	46.9	38.0	20.2	13.3	13.9	8.9
あたたかい	19.9	27.2	27.3	14.9	17.2	19.0	18.8
開放的な	6.1	8.6	9.1	6.4	5.0	5.1	3.6
沈滞した	27.1	14.8	24.0	30.9	41.1	24.5	22.3
雑然とした	19.1	17.3	13.2	21.3	28.9	18.5	11.6
遅れた	44.3	46.9	44.6	51.1	48.9	43.1	34.8
閉鎖的な	31.3	17.3	28.1	35.1	43.9	30.1	25.0

注) 網掛けは、全体よりも10ポイント以上構成比の高い回答

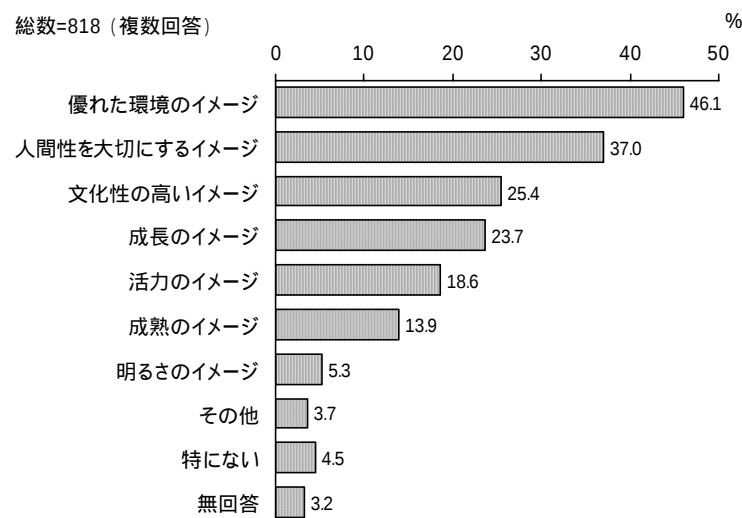
将来のイメージ(問2)

あなたにとって、今後のさいたま市に高めてほしいイメージはどのようなものですか。また、そのうちの、岩槻区についてはいかがですか。さいたま市、岩槻区について、それぞれ次の1～9の中から2つまで選んでください。

問2. 高めてほしいイメージ(1)市



問2. 高めてほしいイメージ(2)区



将来に向けて、さいたま市には発展的、先進的など「成長のイメージ」や、あたたかい、親しみのあるなど「人間性を大切にするイメージ」、快適、自然豊かな、潤いのあるなど「優れた環境のイメージ」を高めて欲しいとされています。

岩槻区についても、これらの3要素が上位3位となっており、特に「優れた環境のイメージ」は46%と半数近くの高い割合となっており、恵まれた緑や水辺を大切にしたいという意向が表れています。

(2) 暮らしを取り巻く環境について

生活環境の満足度(問3)

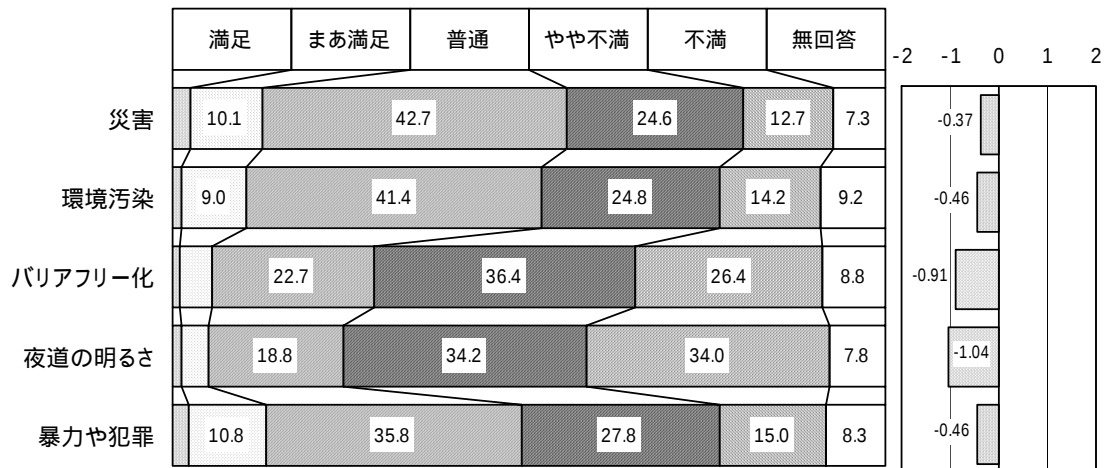
身の回りを考えたとき、あなたはどの程度満足を感じていますか。次の1～32のそれぞれについて、該当するものを1つ選んでください。

問3. 環境の満足度【安全性】

総数=818

単位: % (5%未満非表示)

回答の平均点



注) 回答の平均点は、「満足」を2点、「まあ満足」を1点、「普通」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点に得点化し、回答者全体の平均点を求めたもの

生活環境の安全性の領域(5項目)では、「夜道の明るさ」「バリアフリー化」について不満を感じる人の割合(やや不満と不満の割合の合計)が60%を超えています。他の項目についても、不満を感じる人の割合が満足を感じている人の割合(満足とまあ満足の割合の合計)を上回っており、安全性の領域に対する満足度は相対的に低い傾向が見られます。

年代別に見ると、全般的に50代以下の層で満足度がより低くなっており、項目別に見ると、「災害に対する安全性」は30～40代で、「環境汚染に対する安全性」は40代で、「バリアフリー化」は30代で、「夜道の明るさ」では20代で低くなっています。

□生活環境の満足度(問3):【安全性の領域】回答の平均点(年代別)

項目	回答の平均点	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1. 災害(火災、地震、水害など)に対する安全	-0.37	-0.37	-0.56	-0.53	-0.56	-0.44	-0.22	-0.05
2. 環境汚染(ダイオキシンなど)に対する安全	-0.46	-0.46	-0.53	-0.53	-0.66	-0.50	-0.32	-0.33
3. 道路や施設のバリアフリー化の状況	-0.91	-0.91	-0.96	-1.03	-0.97	-1.05	-0.81	-0.61
4. 夜道の明るさ	-1.04	-1.04	-1.23	-1.17	-1.18	-1.20	-0.87	-0.66
5. 暴力や犯罪がないこと	-0.46	-0.46	-0.51	-0.52	-0.60	-0.43	-0.46	-0.29

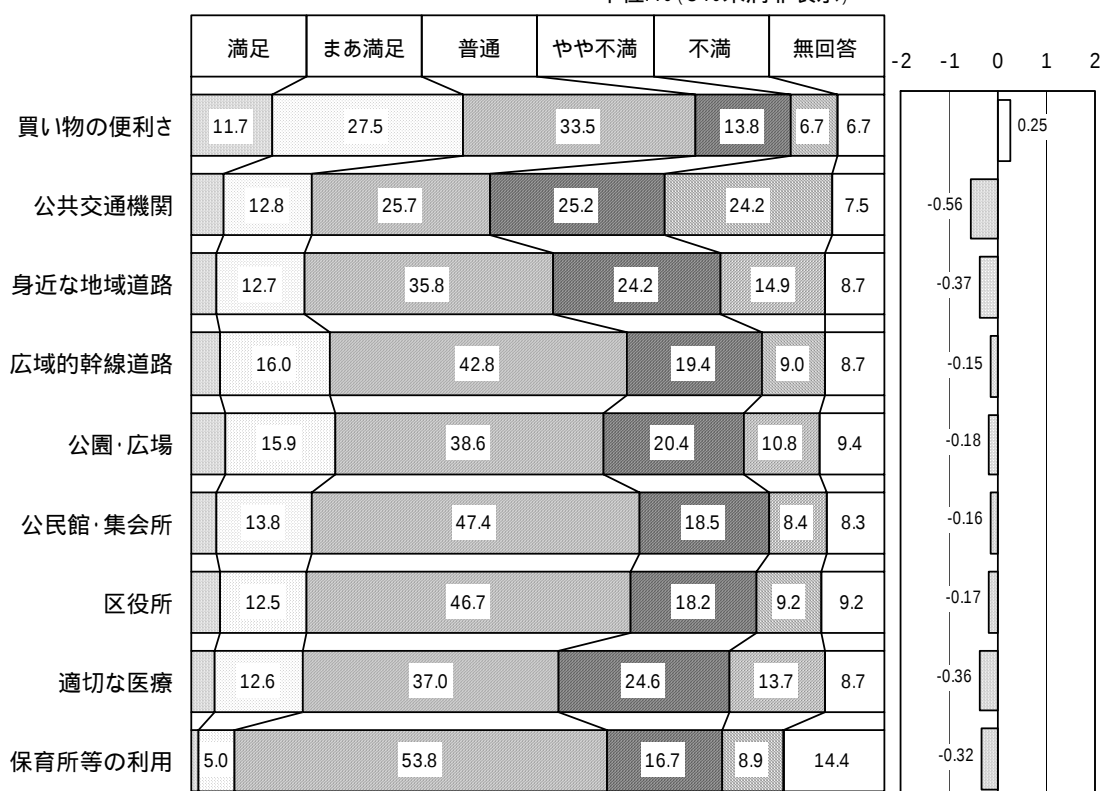
注) 網掛けは全体と比較して0.1ポイント以上評価の高いもの

問3.環境の満足度【利便性】

総数=818

単位:% (5%未満非表示)

回答の平均点



利便性の領域（9項目）では、買い物について満足している人の割合（満足とまあ満足の割合の合計）は不満を感じる人の割合（やや不満と不満の割合の合計）を上回っています。しかし、「公共交通機関」「身近な地域での道路」など日常の交通手段や医療については、不満を感じる人の割合が40～50%台となっています。

年代別に見ると、活動の活発な20代では「公共交通機関」について、子育て期にあたる30代では「公園・広場などの利用のしやすさ」「保育所の利用のしやすさ」について満足度が低くなっており、40代と50代では「医療の身近さ」について満足度が低くなっています。

□生活環境の満足度(問3):【利便性の領域】回答の平均点(年代別)

項目	回答の平均点	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
6. 日用品・食料品などの買い物の便利さ	0.25	0.25	0.19	0.26	0.12	0.32	0.40	
7. 鉄道・バスなど公共交通機関の使いやすさ	-0.56	-0.74	-0.64	-0.47	-0.68	-0.56	-0.36	
8. 身近な地域での道路の使いやすさ	-0.37	-0.33	-0.37	-0.33	-0.47	-0.38	-0.23	
9. 広域的な幹線道路の使いやすさ	-0.15	0.01	-0.11	-0.18	-0.19	-0.19	-0.16	
10. 公園・広場などの利用のしやすさ	-0.18	0.01	-0.40	-0.29	-0.17	-0.16	-0.06	
11. 公民館・集会所などの利用のしやすさ	-0.16	-0.21	-0.17	-0.36	-0.13	-0.17	0.03	
12. 区役所の身近さ	-0.17	-0.26	-0.22	-0.18	-0.26	-0.14	0.08	
13. 適切な医療が受けられること	-0.36	-0.16	-0.39	-0.50	-0.48	-0.38	-0.12	
14. 保育所や保育サービスの利用のしやすさ	-0.32	-0.38	-0.47	-0.36	-0.32	-0.26	-0.13	

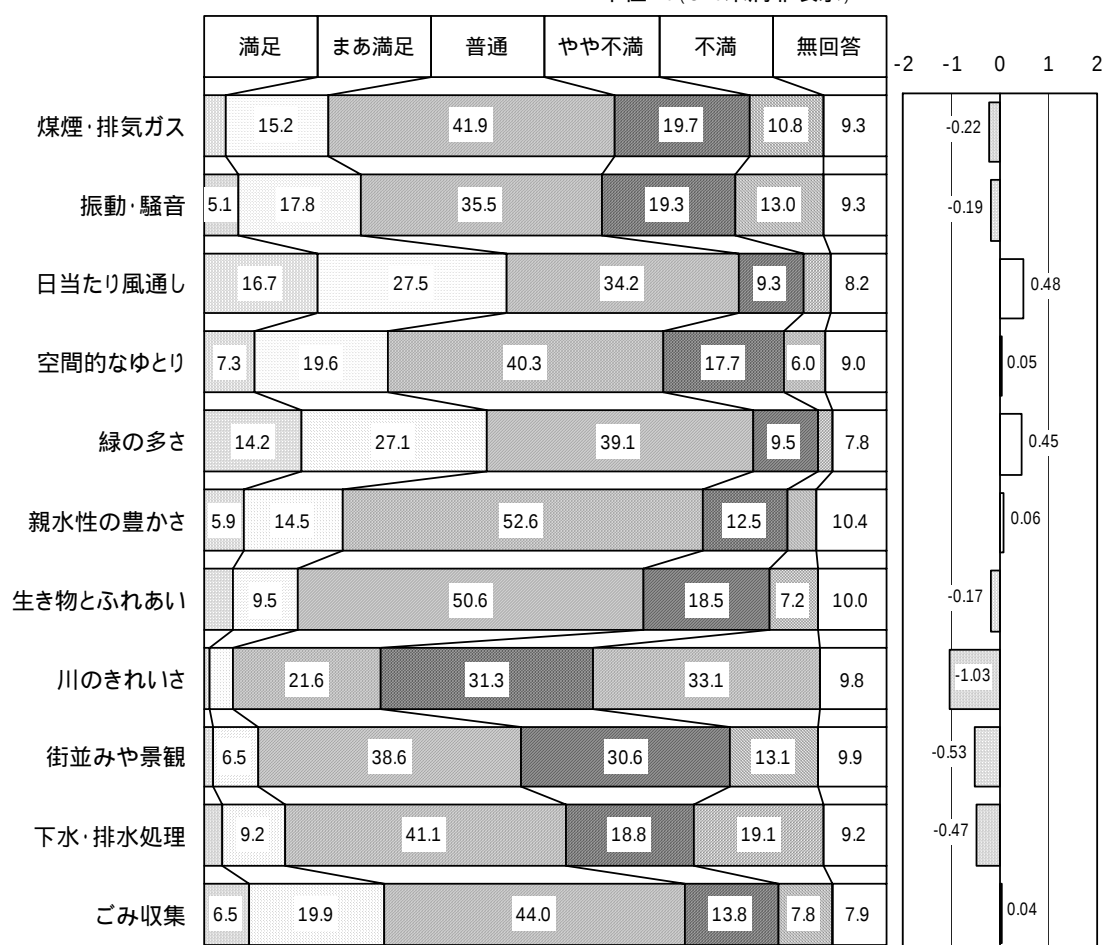
注) 網掛けは全体と比較して0.1ポイント以上評価の高いもの

問3.環境の満足度【快適性】

総数=818

単位:% (5%未満非表示)

回答の平均点



快適性の領域（11項目）では、「日当たりや風通しのよさ」「緑の多さ」について、満足している人の割合（満足とまあ満足の割合の合計）が不満を感じる人の割合（やや不満と不満の割合の合計）を上回り、満足度は高くなっています。しかし、全般的には、満足している人の割合が、不満を感じている人の割合と同程度か、それ以上の項目が多く、とくに、「川を流れる水のきれいさ」は、不満を感じている人が64%（やや不満と不満の割合の合計）と多くなっています。

年代別にみると、安全性の領域と同様、高い年代層よりも若い年代層で総じて満足度が低い傾向があり、とくに40代では快適性の11項目のうち、「生き物とのふれあい」「川の水のきれいさ」「下水等の処理」「ごみ収集の体制や回数」を除く7項目において、他年代と比較して最も満足度が低くなっています。

□生活環境の満足度（問３）：【快適性の領域】回答の平均点（年代別）

項目	回答の平均点	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
15. ばい煙・排気ガスの発生がないこと	-0.22	-0.22	-0.38	-0.38	-0.45	-0.17	-0.05	-0.04
16. 振動・騒音(工場・車などの)がないこと	-0.19	-0.19	-0.34	-0.39	-0.46	-0.14	-0.04	0.14
17. 日当たりや風通しの良さ	0.48	0.48	0.46	0.36	0.21	0.59	0.49	0.70
18. 公園や広場などの空間的なゆとり	0.05	0.05	-0.01	-0.08	-0.13	0.08	0.16	0.21
19. 緑の多さ	0.45	0.45	0.35	0.38	0.30	0.51	0.49	0.64
20. 親水性の豊かさ	0.06	0.06	0.12	0.00	-0.08	0.12	0.09	0.10
21. 生き物とのふれあい	-0.17	-0.17	-0.30	-0.23	-0.13	-0.08	-0.19	-0.12
22. 川などを流れる水のきれいさ	-1.03	-1.03	-1.36	-1.03	-0.98	-0.98	-1.01	-0.89
23. 街並みや景観の美しさ	-0.53	-0.53	-0.65	-0.59	-0.66	-0.54	-0.44	-0.41
24. 下水や排水の処理状況	-0.47	-0.47	-0.41	-0.46	-0.52	-0.59	-0.53	-0.15
25. ごみ収集の体制や回数	0.04	0.04	-0.22	-0.13	0.03	0.02	0.12	0.34

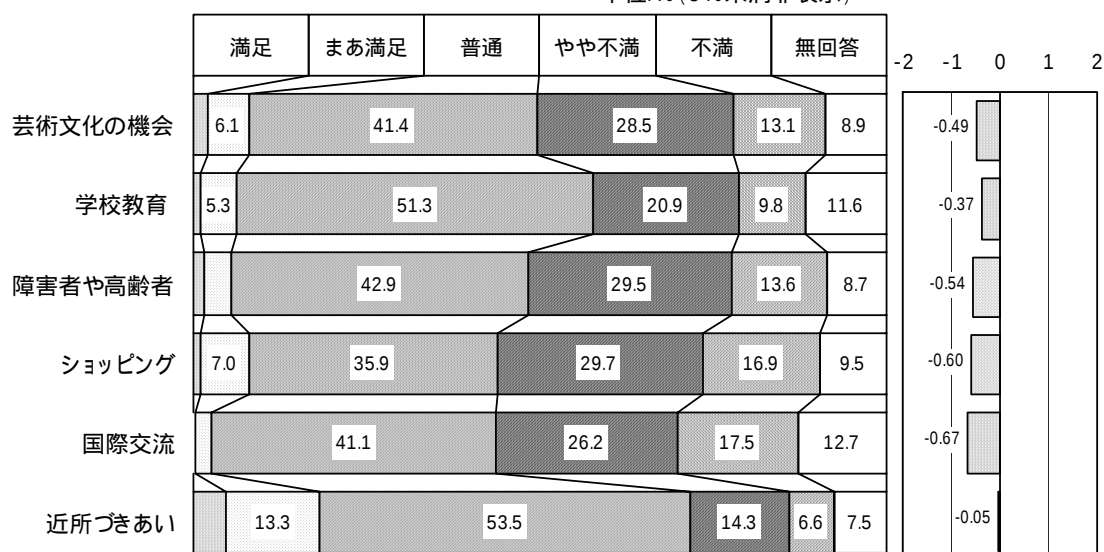
注) 網掛けは全体と比較して0.1ポイント以上評価の高いもの

問3.環境の満足度〔文化性〕

総数=818

単位: % (5%未満非表示)

回答の平均点



文化性の領域（6項目）では、「ショッピングの楽しさやまちの賑わい」をはじめ、「国際交流を楽しめること」「芸術・文化に親しむ機会」「国際交流を楽しめること」など、「近所づきあいのしやすさ」を除いて、不満を感じる人の割合が多くなっています。

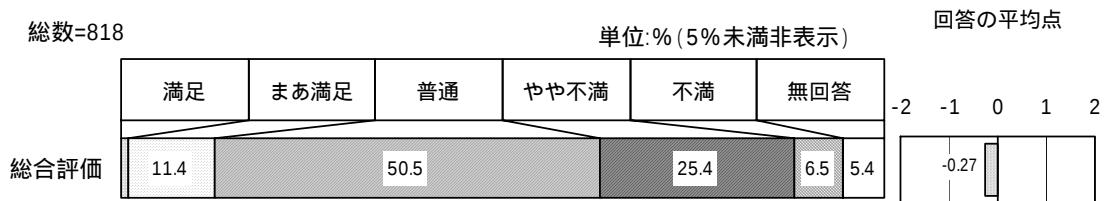
年代別に見ると、総じて20代、30代の満足度が他世代よりも低い傾向が見られますが、一般的に生涯学習活動の参加率の高い50代、60代で「芸術・文化に親しむ機会」の満足度が他世代よりも低くなっています。また、「近所づきあいのしやすさ」の満足度は、30代から50代で低くなっています。

□生活環境の満足度(問3):〔文化性の領域〕回答の平均点(年代別)

項目	回答の平均点	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
26. 芸術・文化に親しむ機会があること	-0.49	-0.59	-0.47	-0.46	-0.51	-0.53	-0.33	
27. 信頼できる学校教育	-0.37	-0.58	-0.46	-0.39	-0.42	-0.28	-0.13	
28. 障害者や高齢者への配慮	-0.54	-0.67	-0.62	-0.51	-0.53	-0.56	-0.39	
29. ショッピングの楽しさやまちの賑わい	-0.60	-0.70	-0.64	-0.61	-0.72	-0.52	-0.40	
30. 国際交流を楽しめること	-0.67	-0.66	-0.71	-0.60	-0.67	-0.74	-0.52	
31. 近所づきあいのしやすさ	-0.05	0.08	-0.24	-0.12	-0.10	-0.04	0.26	

注) 網掛けは全体と比較して0.1ポイント以上評価の高いもの

問3.環境の満足度【総合評価】



生活環境を総合して評価すると、不満を感じる割合（やや不満と不満の割合の合計）が32%であるのに対し、満足している割合（満足とまあ満足の割合の合計）は12%にとどまり、満足度はマイナスとなっています。年代別に見ると、若い世代ほど満足度が低い傾向があります。

□生活環境の満足度(問3):【総合評価】回答の平均点(年代別)

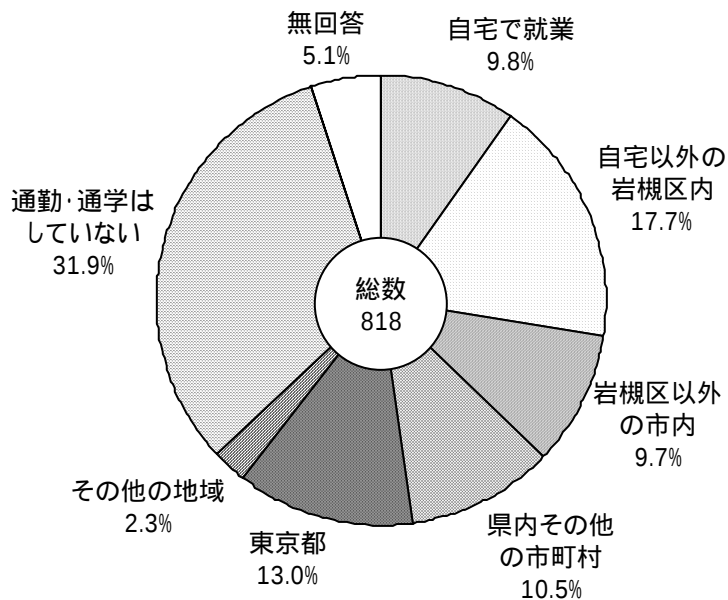
項目	回答の平均点	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
32. 上記を総合して、どの程度満足していますか。		-0.27	-0.53	-0.46	-0.38	-0.23	-0.21	0.08

注) 網掛けは全体と比較して0.1ポイント以上評価の高いもの

通勤・通学先(問4)

あなたの通勤地もしくは通学地はどこですか。1つ選んでください。

問4. 通勤地・通学地



通勤通学先については、自宅を含む区内が28%、東京都13%、岩槻区以外の市内が10%となっており、東京都よりも岩槻区を含む市内との結びつきが強い傾向が示されています。

性別では、女性では自宅や自宅以外の区内の割合が男性よりも高く、身近な場を通勤通学先として選ぶ傾向があることを示しています。一方、男性では、県内のその他の市町村や東京都への通勤通学率が高くなっています。

年代別では、20代で区外への通勤通学率が高く、なかでも東京都への通勤通学率が28%と高くなっている一方、自宅を含む区内については6%にとどまっています。反対に、50代以上では自宅での就業の割合が高く、また、40代、50代で自宅以外の区内の割合が高くなっています。

なお、通勤・通学していない割合は、女性で39%と高く、また、年齢別では60代で43%、70代以上で65%となっています。

□通勤・通学先(問4):属性別

	自宅で就 業	自宅以外 の岩槻区 内	岩槻区以 外の市内	県内その 他の市町 村	東京都	その他の 地域	通勤・通学 はしてい ない	無回答
全体 (818)	9.8	17.7	9.7	10.5	13.0	2.3	31.9	5.1
男性 (299)	8.7	14.7	11.7	15.1	22.7	4.0	20.1	3.0
女性 (358)	11.5	19.0	9.8	8.1	7.0	1.1	38.5	5.0
20代 (81)	1.2	4.9	23.5	19.8	28.4	3.7	16.0	2.5
30代 (121)	7.4	17.4	14.9	18.2	17.4	4.1	19.0	1.7
40代 (94)	4.3	33.0	14.9	11.7	11.7	3.2	19.1	2.1
50代 (180)	11.7	26.1	7.8	11.7	13.9	3.3	21.1	4.4
60代 (216)	12.5	13.9	6.0	6.9	11.1	0.9	42.6	6.0
70代以上 (112)	13.4	7.1	-	0.9	1.8	-	65.2	11.6

注) 網掛けは全体と比較して5ポイント以上高いもの

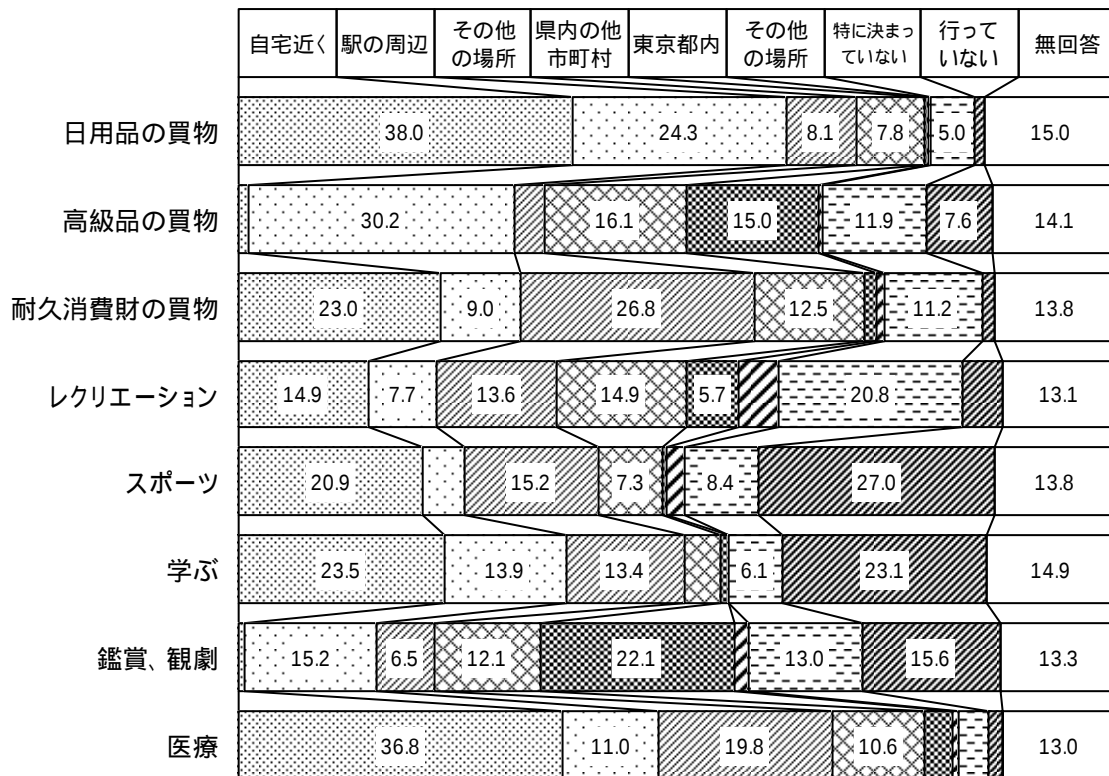
買い物や余暇の行き先と交通手段(問5)

あなたは、買い物や外食、余暇活動などを主にどこでしていますか。次の1～8のそれぞれについて、該当するものを1つ選んでください(「駅の周辺」欄には下表から1～30の番号を記入)。

問5. 買い物や外食、余暇活動の場所

総数=818

単位:%(5%未満非表示)



区民の生活圏を見ると、日用品の買い物、医療をはじめ、耐久消費財の買い物、スポーツや生涯学習活動では、自宅周辺や市内の駅周辺、市内のその他の場所が選択されており、身近な買い物や余暇活動については、区内、市内で機会を得ている人が多いことがわかります。一方、高級品の買い物や鑑賞・観劇では、東京都内や県内の他市町村が選択されています。

日用品の買い物については、性別や年代での大きな傾向の違いは見られませんが、20代では駅周辺を選ぶ割合がやや高く、30代では自宅近くを選ぶ割合が高くなっています。

一方、高級品の買い物については、男女、各年代を通じて自宅周辺の割合が減少し、東京都内や県内の他市町村の割合が高まっています。なかでも、20代の東京都内の割合、30代の駅周辺の割合は全体よりも10ポイント程度高くなっています。

□ 買い物や余暇の行き先と交通手段(問5): 1. 日用品の買い物(属性別)

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体 (818)	38.0	24.3	8.1	7.8	0.2	0.4	5.0	1.1	15.0
男性 (299)	36.8	21.7	10.4	8.0	-	-	7.0	1.7	14.4
女性 (358)	40.2	26.5	6.4	6.4	0.6	0.6	4.2	0.8	14.2
20代 (81)	39.5	33.3	6.2	4.9	2.5	1.2	9.9	1.2	1.2
30代 (121)	49.6	24.0	10.7	5.8	-	-	5.8	-	4.1
40代 (94)	43.6	23.4	9.6	7.4	-	-	5.3	-	10.6
50代 (180)	37.2	19.4	10.6	13.9	-	0.6	5.0	-	13.3
60代 (216)	34.7	23.6	8.3	7.4	-	-	3.2	0.9	21.8
70代以上 (112)	29.5	27.7	1.8	2.7	-	0.9	3.6	4.5	29.5

注) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

□ 買い物や余暇の行き先と交通手段(問5): 2. 高級品の買い物(属性別)

	自宅近く	駅の周辺	市内のその他の場所	県内の他市町村	東京都内	市外のその他の場所	特に決まっていない	行っていない	無回答
全体 (818)	1.2	30.2	3.4	16.1	15.0	0.5	11.9	7.6	14.1
男性 (299)	0.7	27.8	5.4	14.0	16.4	-	13.7	8.0	14.0
女性 (358)	1.4	33.0	1.7	16.2	16.5	1.1	10.1	7.5	12.6
20代 (81)	1.2	30.9	2.5	8.6	28.4	1.2	18.5	7.4	1.2
30代 (121)	0.8	40.5	3.3	17.4	18.2	-	12.4	4.1	3.3
40代 (94)	-	36.2	3.2	16.0	20.2	1.1	6.4	9.6	7.4
50代 (180)	0.6	31.1	1.7	19.4	16.1	1.1	10.0	7.8	12.2
60代 (216)	2.3	23.6	5.1	15.7	10.6	-	15.3	7.9	19.4
70代以上 (112)	0.9	24.1	3.6	17.0	6.3	-	8.9	9.8	29.5

注) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

耐久消費財の買い物については、日用品の買い物と比較して、自宅近くの割合が低く、市内のその他の場所の割合が高くなっています。性別や年代による明確な傾向の違いは見られません。

レクリエーションについては、全体では駅周辺を含めた市内が21%、自宅近くが15%、県内他市町村が15%、東京都内が6%の順となっていますが、20代では東京都内が20%で、駅周辺を含めた市内とほぼ同程度となっています。また、40代では駅周辺を含めた市内が35%と多く、比較的身近な場所で機会を得ている様子が見られます。

□ 買い物や余暇の行き先と交通手段(問5): 3. 耐久消費財の買い物(属性別)

	自宅近く	駅周辺	市内の その他の 場所	県内の 他市町村	東京都内	市外の その他の 場所	特に 決まってい ない	行ってい ない	無回答
全体 (818)	23.0	9.0	26.8	12.5	1.5	0.7	11.2	1.5	13.8
男性 (299)	19.4	8.4	29.1	13.7	2.3	0.3	11.4	2.0	13.4
女性 (358)	25.4	9.5	27.1	10.6	1.1	0.8	11.5	1.7	12.3
20代 (81)	24.7	14.8	23.5	9.9	4.9	1.2	17.3	1.2	2.5
30代 (121)	28.9	5.8	31.4	9.9	4.1	0.8	13.2	0.8	5.0
40代 (94)	24.5	7.4	41.5	10.6	-	1.1	8.5	1.1	5.3
50代 (180)	20.0	7.8	26.7	18.3	0.6	1.1	14.4	-	11.1
60代 (216)	23.1	8.8	23.6	14.4	0.5	-	10.2	1.4	18.1
70代以上 (112)	19.6	11.6	18.8	7.1	0.9	0.9	4.5	5.4	31.3

注) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

□ 買い物や余暇の行き先と交通手段(問5): 4. レクリエーション(属性別)

	自宅近く	駅周辺	市内の その他の 場所	県内の 他市町村	東京都内	市外の その他の 場所	特に 決まってい ない	行ってい ない	無回答
全体 (818)	14.9	7.7	13.6	14.9	5.7	4.8	20.8	4.5	13.1
男性 (299)	14.0	5.0	16.1	13.0	5.0	6.7	22.4	4.7	13.0
女性 (358)	13.7	9.2	14.2	16.2	7.0	3.6	21.2	4.2	10.6
20代 (81)	18.5	7.4	14.8	9.9	19.8	4.9	22.2	2.5	-
30代 (121)	14.9	7.4	12.4	19.0	9.9	5.0	28.1	0.8	2.5
40代 (94)	16.0	11.7	23.4	14.9	3.2	6.4	16.0	3.2	5.3
50代 (180)	15.0	6.7	10.0	21.7	2.2	7.2	23.9	4.4	8.9
60代 (216)	13.9	6.5	12.0	13.0	3.7	3.7	21.8	5.6	19.9
70代以上 (112)	11.6	8.9	15.2	8.9	3.6	0.9	10.7	8.9	31.3

注) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

スポーツについては、全体では自宅近くが 21%、駅周辺を含めた市内が 20%、県内の他市町村が 7%の順となっています。性別による大きな違いは見られません。年代別には、20 代、30 代で東京都内や県内の他市町村の割合がやや高い傾向があります。

生涯学習など学ぶ活動については、全体では自宅近くが 24%、駅周辺を含めた市内が 27%、県内の他市町村が 4%で、スポーツ活動と類似した結果となっています。性別では、女性で自宅近くの割合が高く、年代別では、若い層ほど自宅近くの割合が高い傾向があります。

□ 買い物や余暇の行き先と交通手段(問5) : 5 . スポーツ(属性別)

	自宅近く	駅の周辺	市内の その他の 場所	県内の 他市町村	東京都内	市外の その他の 場所	特に 決まってい ない	行って いない	無回答
全体 (818)	20.9	4.9	15.2	7.3	0.5	2.0	8.4	27.0	13.8
男性 (299)	20.1	4.3	15.4	6.7	0.7	3.3	9.0	26.8	13.7
女性 (358)	21.2	5.0	16.8	8.7	0.3	0.8	8.7	27.9	10.6
20 代 (81)	25.9	6.2	16.0	12.3	2.5	3.7	13.6	19.8	-
30 代 (121)	19.8	4.1	19.8	11.6	1.7	3.3	12.4	24.0	3.3
40 代 (94)	22.3	4.3	26.6	9.6	-	-	13.8	17.0	6.4
50 代 (180)	26.7	3.3	13.9	7.2	-	1.7	7.2	29.4	10.6
60 代 (216)	19.9	6.9	11.6	3.2	-	1.4	5.6	30.6	20.8
70 代以上 (112)	10.7	3.6	10.7	5.4	-	1.8	4.5	33.9	29.5

注) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

□ 買い物や余暇の行き先と交通手段(問5) : 6 . 学ぶ(属性別)

	自宅近く	駅の周辺	市内の その他の 場所	県内の 他市町村	東京都内	市外の その他の 場所	特に 決まってい ない	行って いない	無回答
全体 (818)	23.5	13.9	13.4	4.0	0.9	0.1	6.1	23.1	14.9
男性 (299)	16.1	12.0	15.7	3.7	1.7	0.3	8.7	28.4	13.4
女性 (358)	29.9	15.4	14.0	4.5	0.6	-	4.2	18.7	12.8
20 代 (81)	40.7	19.8	9.9	4.9	1.2	-	3.7	18.5	1.2
30 代 (121)	31.4	19.8	13.2	3.3	1.7	-	7.4	19.0	4.1
40 代 (94)	33.0	18.1	16.0	4.3	1.1	-	4.3	17.0	6.4
50 代 (180)	19.4	11.7	17.8	5.6	1.7	0.6	5.6	26.7	11.1
60 代 (216)	15.7	11.6	12.0	3.2	-	-	6.9	28.2	22.2
70 代以上 (112)	17.0	8.9	11.6	3.6	-	-	7.1	20.5	31.3

注) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

鑑賞、観劇については、全体では東京都内が 22%、駅周辺を含む市内が 22%、県内の他市町村が 12%の順となっています。男女別には大きな傾向の違いは見られませんが、年代別には、20 代で東京都内の割合が、30 代から 50 代は駅周辺を含む市内の割合が高い傾向があります。

医療については、全体では自宅近くが 37%、駅周辺を含む市内が 30%、県内の他市町村が 11%の順となっています。男女別では大きな傾向の違いは見られません。年代別には若い世代ほど自宅近くの割合が、50 代、60 代では県内の他市町村の割合が高くなる傾向があり、他の項目では若い世代ほど区外の割合が高くなる傾向があることと対照的な結果となっています。

□ 買い物や余暇の行き先と交通手段(問5):7. 鑑賞、観劇(属性別)

	自宅近く	駅の周辺	市内の その他の 場所	県内の 他市町村	東京都内	市外の その他の 場所	特に 決まってい ない	行ってい ない	無回答
全体 (818)	0.6	15.2	6.5	12.1	22.1	1.6	13.0	15.6	13.3
男性 (299)	0.3	17.1	6.4	10.4	20.1	1.3	11.0	19.7	13.7
女性 (358)	0.8	15.4	6.4	13.4	26.3	1.7	12.6	13.1	10.3
20 代 (81)	2.5	17.3	8.6	16.0	30.9	2.5	9.9	9.9	2.5
30 代 (121)	0.8	19.0	15.7	11.6	23.1	-	14.9	12.4	2.5
40 代 (94)	1.1	22.3	9.6	16.0	21.3	2.1	11.7	7.4	8.5
50 代 (180)	-	18.9	4.4	15.0	22.8	1.1	12.2	17.2	8.3
60 代 (216)	-	9.7	2.8	7.9	23.6	2.3	14.4	20.8	18.5
70 代以上 (112)	-	8.9	3.6	11.6	13.4	0.9	12.5	18.8	30.4

注) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

□ 買い物や余暇の行き先と交通手段(問5):8. 医療(属性別)

	自宅近く	駅の周辺	市内の その他の 場所	県内の 他市町村	東京都内	市外の その他の 場所	特に 決まってい ない	行ってい ない	無回答
全体 (818)	36.8	11.0	19.8	10.6	3.2	0.6	3.4	1.6	13.0
男性 (299)	34.8	11.0	23.7	8.0	4.0	1.0	4.7	1.3	11.4
女性 (358)	40.2	9.8	19.0	12.0	2.2	0.6	2.5	1.4	12.3
20 代 (81)	53.1	12.3	18.5	6.2	3.7	1.2	2.5	1.2	1.2
30 代 (121)	54.5	5.8	19.8	7.4	5.0	-	3.3	-	4.1
40 代 (94)	41.5	9.6	22.3	6.4	4.3	1.1	6.4	3.2	5.3
50 代 (180)	32.8	11.1	22.8	15.0	1.1	1.1	4.4	1.1	10.6
60 代 (216)	28.2	11.6	17.1	15.3	4.6	0.5	3.2	1.4	18.1
70 代以上 (112)	24.1	14.3	20.5	6.3	0.9	-	0.9	3.6	29.5

注) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

各項目での「駅周辺」の回答を詳細に見ると、日用品の買い物、スポーツや学習活動など、身近な買い物や余暇活動については、岩槻駅が70%前後を占め、次いで東岩槻駅となっており、区内2駅周辺が身近な生活拠点となっていることを示しています。

また、いずれの項目でも上位3位までに大宮駅が含まれており、東武野田線で結ばれる大宮駅周辺との結びつきの強さが表れています。その他の市内の駅としては、鑑賞、観劇におけるさいたま新都心駅、高級品の買物における浦和駅、レクリエーションにおける大和田駅が見られます。

□ 買い物や余暇の行き先と交通手段(問5):「駅の周辺」の場合の駅名(全体)

項 目	第 1 位	第 2 位	第 3 位
日用品の買物	岩槻駅 (72.9)	東岩槻駅 (19.1)	大宮駅 (4.0)
高級品の買物	大宮駅 (81.0)	岩槻駅 (8.9)	浦和駅 (6.9)
耐久消費財の買物	岩槻駅 (40.5)	大宮駅 (32.4)	東岩槻駅 (14.9)
レクリエーション	大宮駅 (46.0)	岩槻駅 (36.5)	東岩槻駅 (3.2) 大和田駅 (3.2)
スポーツ	岩槻駅 (65.0)	東岩槻駅 (12.5)	大宮駅 (10.0)
学ぶ	岩槻駅 (74.6)	東岩槻駅 (11.4)	大宮駅 (7.9)
鑑賞、観劇	大宮駅 (66.9)	さいたま新都心駅 (21.0)	岩槻駅 (1.6)
医療	岩槻駅 (64.4)	東岩槻駅 (10.0)	大宮駅 (8.9)

公共施設の利用状況(問6)

あなたは、市内の公共施設を利用していますか。次の１～８の施設ごとに、利用した場合はその評価を、利用していない場合はその理由を、該当するものを１つ選んで下さい。

問６．公共施設の利用状況

	全体	利用した					利用率
		良い	普通	悪い	わからない		
市民活動施設	100.0	10.5	35.1	2.1	1.8		49.5
生涯学習施設	100.0	11.5	35.9	2.4	1.6		51.4
スポーツ活動施設	100.0	11.1	29.8	2.9	1.6		45.4
保健・衛生施設	100.0	6.1	32.5	3.4	3.4		45.4
高齢者福祉施設	100.0	2.4	10.6	2.4	3.4		18.8
子育て支援施設	100.0	2.8	7.5	2.8	4.0		17.1
市民サービス窓口	100.0	7.6	51.1	11.2	3.3		73.2
公園・緑地など	100.0	13.0	49.6	8.6	1.8		73.0

	利用していない						無回答
	利用したいが交通手段が不便	利用したい時に開いていない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法が分からない	利用する必要がない	
市民活動施設	2.2	1.3	0.9	2.7	4.3	28.4	10.8
生涯学習施設	4.9	2.7	0.5	4.3	2.9	20.3	13.0
スポーツ活動施設	3.9	2.0	0.7	2.3	4.3	29.1	12.2
保健・衛生施設	4.6	1.6	0.1	4.2	6.0	25.2	12.8
高齢者福祉施設	1.8	0.2	0.1	5.9	3.4	56.5	13.1
子育て支援施設	0.5	0.4	0.1	3.8	2.1	61.7	14.3
市民サービス窓口	1.2	1.8	0.1	1.6	2.4	8.1	11.5
公園・緑地など	2.1	0.1	-	1.5	0.9	10.6	11.9

公共施設の利用状況を見ると、市民サービス窓口、公園・緑地の利用率が70%を超え、高くなっています。次いで、生涯学習施設、市民活動施設、スポーツ活動施設が50%前後の利用率となっています。また、利用対象者が年齢的に限定される高齢者福祉施設や子育て支援施設は、18%前後の利用率となっています。

利用した評価を見ると、市民活動施設と生涯学習施設、スポーツ施設、公園・緑地、保健・衛生施設では、「良い」が「悪い」を上回っており、利用者の評判はおおむね良好となっていますが、高齢者福祉施設、子育て支援施設は「良い」と「悪い」がほぼ同程度となっています。また、市民サービス窓口は「良い」が「悪い」を下回る結果となっています。

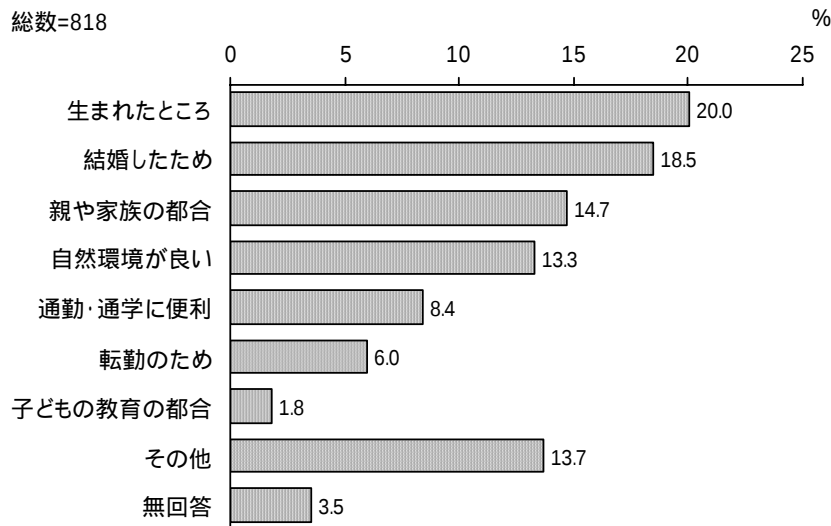
利用しない理由としては、いずれの施設も「必要がない」が最大となっていますが、生涯学習施設やスポーツ施設、保健・衛生施設では交通手段の不便さを挙げる割合が高くなっており、生涯学習施設とスポーツ施設では開所時間を挙げる割合が、また、保健・衛生施設や市民活動施設、スポーツ施設では、利用方法がわからないとする割合もやや高くなっています。全体として見ると、交通アクセスや開所時間の制約、利用方法についての情報不足が、公共施設を利用しにくい要因となっていることがわかります。

(3) 定住意向について

現在地に住んでいる理由(問7)

あなたが現在のお住まいの場所に住んでいる理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

問7. 住んでいる理由



現在地に住んでいる理由として、「生まれたところだから」という回答が20%で最も多くなっています。次いで、「結婚したため」「親や家族の都合」など家庭に関連する理由が続きますが、第4位には「自然環境が良い」が挙げられており、岩槻区の特性である自然の豊かさが、住み続けるための魅力となっていることがわかります。

性別では、女性で結婚を挙げた割合が高くなっています。年代別では、「生まれたところだから」とする割合が20代で顕著に高いこと、30代では通勤通学の利便性を、40代では子どもの教育の都合を挙げる割合が高いこと、50代以上で自然環境を挙げる割合が高いことなどの特徴が見られます。

□住んでいる理由(問7): 属性別

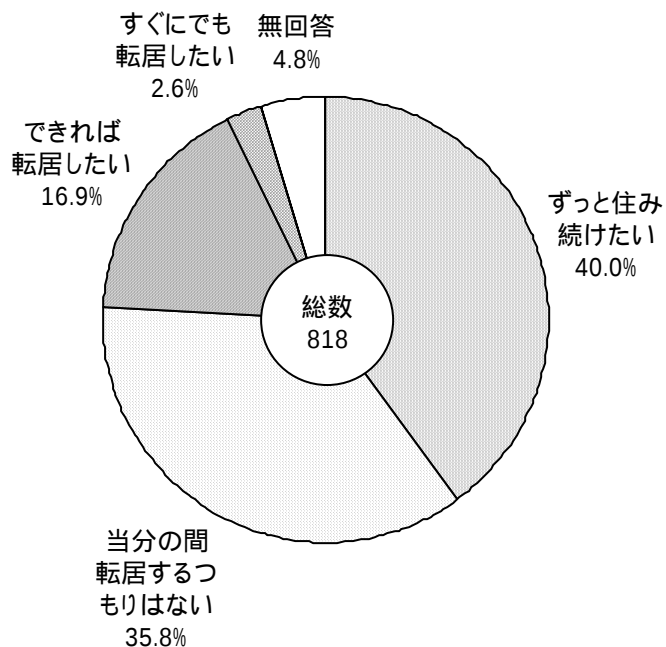
	生まれたところ	結婚したため	親や家族の都合	自然環境が良い	通勤・通学に便利	転勤のため	子どもの教育の都合
全体 (818)	20.0	18.5	14.7	13.3	8.4	6.0	1.8
男性 (299)	25.1	6.7	16.1	15.4	9.7	5.4	2.7
女性 (358)	16.2	31.3	12.3	11.2	6.4	5.6	1.7
20代 (81)	40.7	9.9	25.9	3.7	1.2	3.7	1.2
30代 (121)	24.8	27.3	24.0	3.3	10.7	0.8	0.8
40代 (94)	19.1	21.3	21.3	3.2	7.4	6.4	6.4
50代 (180)	21.1	23.3	6.7	16.7	8.3	3.9	0.6
60代 (216)	12.0	12.5	8.3	24.1	10.2	8.3	1.9
70代以上 (112)	14.3	15.2	14.3	15.2	9.8	11.6	1.8

注) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

今後の定住意向(問8)

あなたは現在お住まいの場所にこれからも住みたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

問8. 定住意向



今後については、「ずっと住み続けたい」「当分の間転居するつもりはない」を合わせると、76%が定住意向を持っています。性別では大きな傾向の違いはありませんが、「できれば転居したい」とする割合が女性で高くなっています。年代別には、年代が高くなるほど「ずっと住み続けたい」とする割合が高まり、年代が若いほど「できれば転居したい」とする割合が高い傾向が見られます。

□今後の定住意向(問8): 属性別

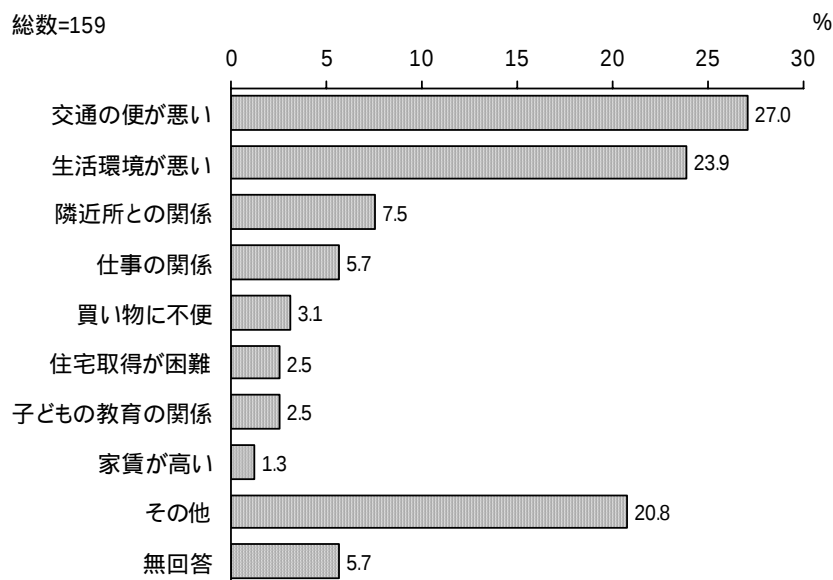
	ずっと住み続けたい	当分の間転居するつもりはない	できれば転居したい	すぐにでも転居したい	無回答
全体 (818)	40.0	35.8	16.9	2.6	4.8
男性 (299)	41.1	39.1	13.7	2.7	3.3
女性 (358)	36.6	37.4	19.3	3.4	3.4
20代 (81)	9.9	50.6	29.6	7.4	2.5
30代 (121)	24.0	43.0	28.1	2.5	2.5
40代 (94)	21.3	53.2	19.1	4.3	2.1
50代 (180)	41.1	40.0	10.6	1.7	6.7
60代 (216)	56.5	25.0	13.9	1.9	2.8
70代以上 (112)	63.4	19.6	8.9	-	8.0

注) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

転居したい理由(問9)

前問で「3. できれば転居したい」「4. すぐにでも転居したい」と答えた方におたずねします。転居したいと思う理由は何ですか。次の中から1つ選んで下さい。

問9. 転居したい理由



転居したい理由としては、「交通の便の悪さ」と「生活環境の悪さ」がいずれも20%を超えて高くなっています。性別には大きな傾向の違いはありませんが、年代別には、「交通の便の悪さ」を挙げる割合は20代、30代で高く、「生活環境の悪さ」を挙げる割合は50代で高いこと、全体では8%である「隣近所との関係」について、70代以上では20%と高いことなどの特徴があります。

□ 転居したい理由(問9): 属性別

	交通の便 が悪い	生活環境 が悪い	隣近所と の関係	仕事の 関係	買い物に 不便	住宅取得 が困難	子どもの 教育の 関係	家賃が 高い	その他
全体 (818)	27.0	23.9	7.5	5.7	3.1	2.5	2.5	1.3	20.8
男性 (299)	26.5	26.5	12.2	4.1	2.0	2.0	4.1	2.0	18.4
女性 (358)	24.7	21.0	4.9	6.2	3.7	2.5	2.5	1.2	24.7
20代 (81)	33.3	13.3	3.3	16.7	3.3	-	-	6.7	20.0
30代 (121)	37.8	24.3	-	2.7	2.7	2.7	2.7	-	21.6
40代 (94)	13.6	27.3	13.6	13.6	-	-	9.1	-	18.2
50代 (180)	27.3	31.8	4.5	-	4.5	4.5	4.5	-	9.1
60代 (216)	20.6	20.6	11.8	-	5.9	5.9	-	-	29.4
70代以上 (112)	30.0	30.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0

注1) 無回答は略

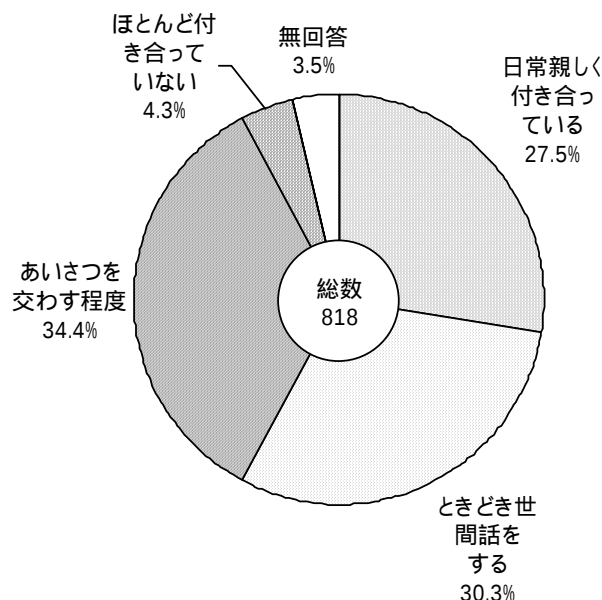
注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

(4) 地域活動への参加状況について

隣近所との付き合いの程度(問 10)

あなたは、隣近所とどの程度の付き合いをしていますか。次の中から 1 つ選んでください。

問10. 隣近所との付き合いの程度



隣近所の付き合いでは、「挨拶を交わす程度」が 34%、「ときどき世間話をする」が 30%、「日常親しく付き合っている」が 28%の順となっていますが、ほぼ三分された傾向になっていると読み取れます。「ほとんど付き合っていない」は 4%と少なく、親密とはいかないまでも、隣近所との付き合いを大切にしている様子がうかがえます。

性別では大きな違いはありませんが、男性で「ほとんど付き合っていない」が高くなっています。

年代別には、60 代以上で「日常親しく付き合っている」の割合が高まり「あいさつを交わす程度」を上回るようになるのに対し、20 代から 40 代では「あいさつを交わす程度」の割合が高く「日常親しく付き合っている割合」は低くなる傾向があります。とくに、20 代では「あいさつを交わす程度」が 64%に達し、ほとんど付き合っていないとする割合も 10%を超えるなど、隣近所との付き合いが少ないことが表れています。

□隣近所との付き合いの程度(問 10): 属性別

	全体	日常親しく付き合っている	ときどき世間話をする	あいさつを交わす程度	ほとんど付き合っていない	無回答
全体	100.0	27.5	30.3	34.4	4.3	3.5
男性	100.0	23.4	29.1	37.8	6.7	3.0
女性	100.0	29.3	31.8	33.5	2.8	2.5
20 代	100.0	8.6	13.6	64.2	12.3	1.2
30 代	100.0	13.2	32.2	42.1	8.3	4.1
40 代	100.0	18.1	28.7	43.6	5.3	4.3
50 代	100.0	27.8	32.8	34.4	3.3	1.7
60 代	100.0	35.6	35.2	23.6	1.4	4.2
70 代以上	100.0	28.6	35.7	14.3	-	21.4

注) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

地域活動への参加状況と今後の参加意向(問11)

あなたは、地域活動などに参加していますか。また、今後、参加したいと思いますか。次の1～6の活動ごとに、現在の状況、今後の意向について、該当するものを1つずつ選んでください。

問11. 地域活動【現在の状況】

総数=818

単位: % (5%未満非表示)

	参加している	参加していない	無回答
地域活動	42.8	49.6	7.6
ボランティア	13.4	74.9	11.6
住民運動等	8.9	77.8	13.3
PTAの役員等	8.8	77.0	14.2
スポーツ活動等	22.7	64.2	13.1
その他の活動	36.3	59.5	

問11. 地域活動【今後の意向】

総数=818

単位: % (5%未満非表示)

	参加したい	参加しない	わからない	無回答
地域活動	30.1	14.3	32.5	23.1
ボランティア	29.2	14.2	38.1	18.5
住民運動等	22.6	17.7	40.0	19.7
PTAの役員等	42.8	29.3	23.5	
スポーツ活動等	37.0	13.4	28.9	20.7
その他の活動	6.7	6.8	26.4	60.0

地域における様々な住民主体の活動のうち、町内会や自治会、子ども会などの地域活動については、現状での参加率が43%と、他の活動項目と比べて高い割合になっていますが、今後の活動意向については、現状を下回る30%となっています。

ボランティア活動については、現状での参加率は13%ですが、今後の意向としては29%となってお

り、また、住民運動等についても、現状 9%に対し今後の意向は 23%となっているなど、従来の地縁型コミュニティから、自らの関心に基づく活動へと意識が変化している様子がうかがえます。

スポーツ活動については、現状で 23%と比較的高い参加率となっていますが、今後についても 37%と他の項目と比較しても高い割合となっており、余暇活動も重視されています。

年代別に見ると、20 代ではスポーツ活動を除き、どの活動項目においても現状の参加率は最も低くなっていますが、住民運動等やボランティア、スポーツ活動などでは、現状を上回る参加希望率となっています。

30 代、40 代は、20 代と比べて様々な活動への参加率が高く、なかでも、子育て期にあるため PTA 活動への参加率が高くなっています。また、今後については、ボランティアや住民運動、スポーツ活動で現状を上回る参加希望が示されています。

50 代、60 代は、現状においても、今後の希望においても、高い参加率、参加希望率を示しており、参加意欲の高い年代となっています。

□地域活動への参加状況と今後の参加意向(問 11)：【現状の参加率と今後の参加希望率】(年代別)

	地域活動		ボランティア		住民運動等		PTA の役員		スポーツ活動	
	現状	今後	現状	今後	現状	今後	現状	今後	現状	今後
全体	42.3	30.1	13.4	29.2	8.9	22.6	8.8	4.4	22.7	37.0
20 代	8.6	9.9	4.9	21.0	-	21.0	1.2	2.5	7.4	32.1
30 代	34.7	27.3	5.0	19.8	9.1	19.8	17.4	7.4	19.0	34.7
40 代	40.4	30.9	8.5	28.7	6.4	28.7	26.6	13.8	23.4	37.2
50 代	48.9	35.0	15.0	33.3	6.7	33.3	7.2	2.2	23.9	48.9
60 代	53.2	38.0	15.3	39.8	10.2	39.8	4.2	2.3	27.8	40.3
70 代以上	50.0	25.0	25.9	20.5	17.9	20.5	2.7	1.8	28.6	19.6

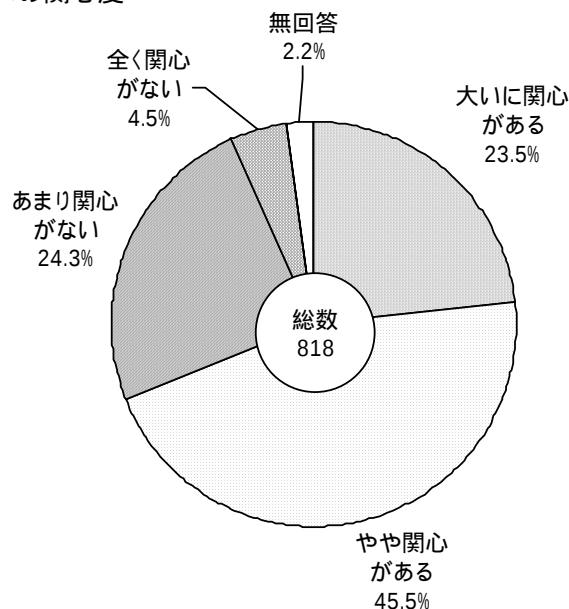
注) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

(5) 市政との関わりについて

市政への関心(問 12)

あなたは市政について関心がありますか。次の中から 1 つ選んでください。

問12. 市政への関心度



市政への関心がある人の割合は、「大いに関心がある」「やや関心がある」をあわせて、69%となっています。

性別では、男性で「大いに関心がある」とする割合が女性よりも高く、年代別では 50 代以上で「大いに関心がある」「やや関心がある」とする割合が高まり、関心があるとする人はおよそ 80%に達しています。

□ 市政への関心(問 12) : 属性別

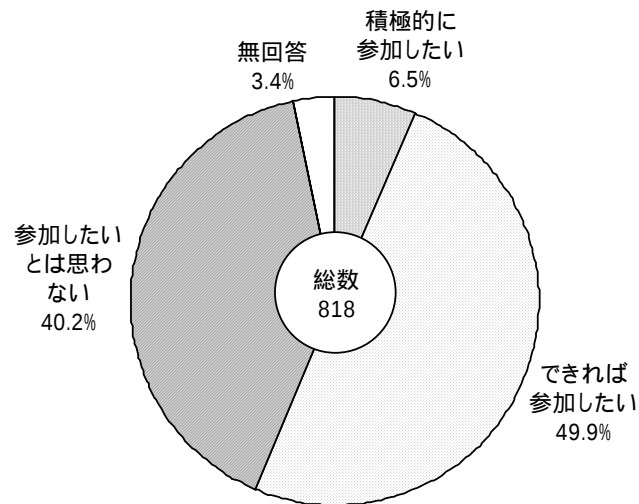
	大いに関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
全体 (818)	23.5	45.5	24.3	4.5	2.2
男性 (299)	32.1	42.5	20.4	4.3	0.7
女性 (358)	17.3	47.5	27.4	5.3	2.5
20 代 (81)	6.2	37.0	42.0	12.3	2.5
30 代 (121)	16.5	44.6	28.1	9.9	0.8
40 代 (94)	13.8	44.7	33.0	5.3	3.2
50 代 (180)	26.7	46.1	22.8	2.2	2.2
60 代 (216)	31.5	50.0	15.7	0.9	1.9
70 代以上 (112)	31.3	47.3	17.0	2.7	1.8

注) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

市民参加意向(問 13)

あなたは、市政への市民参加についてどう思いますか。次の中から 1 つ選んでください。

問13. 市政への参加意向



市政への参加意向は、「積極的に参加したい」とする割合は 7%と少数ですが、「できれば参加したい」とする 50%とあわせて、6 割近くの区民がなんらかの参加意向を持っています。

性別では、前問の市政への関心と同様、男性のほうが女性よりも参加意向が高くなっています。また、年代別に見ると、「積極的に参加したい」「できれば参加したい」を合わせた割合は、退職者の増える 60 代で 71%と目立って高くなっています。

□ 市政への参加意向(問 13): 属性別

	積極的に参加したい	できれば参加したい	参加したいとは思わない	無回答
全体 (818)	6.5	49.9	40.2	3.4
男性 (299)	10.0	55.2	33.4	1.3
女性 (358)	5.3	45.8	45.3	3.6
20 代 (81)	3.7	33.3	59.3	3.7
30 代 (121)	4.1	46.3	47.1	2.5
40 代 (94)	2.1	42.6	52.1	3.2
50 代 (180)	10.0	48.3	40.0	1.7
60 代 (216)	7.4	63.9	26.4	2.3
70 代以上 (112)	6.3	51.8	36.6	5.4

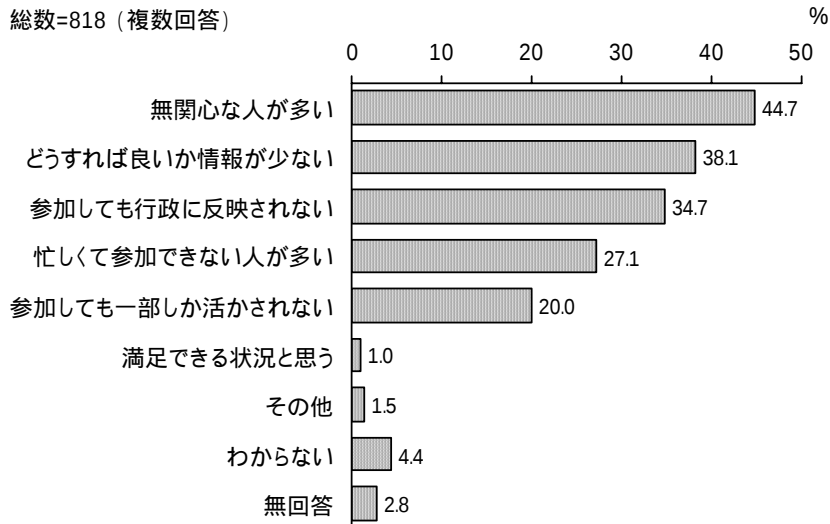
注) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

市民参加の現状(問 14)

あなたは、市政への市民参加に関して、現在どのような状況であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問14. 市政への市民参加の状況

総数=818 (複数回答)



市民参加の現状については、「無関心な人が多い」と指摘する割合が45%と最も高く、次いで、「どうすれば良いか情報が少ない」が38%、「参加しても行政に反映されない」が35%となっています。市民自身が関心を持つこととともに、参加を促す情報提供や成果の活用などが求められていると受け取れます。

性別では大きな違いはありませんが、年代別では20代から40代で、「参加しても行政に反映されない」と感じている人の割合が高くなっています。

□市民参加の現状(問14):属性別

	無関心な人が多い	どうすれば良いか情報が少ない	参加しても行政に反映されない	忙しくて参加できない人が多い	参加しても一部しか活かされない	満足できる状況と思う
全体 (818)	44.7	38.1	34.7	27.1	20.0	1.0
男性 (299)	47.5	38.5	33.1	30.8	17.1	1.0
女性 (358)	42.7	39.7	39.1	24.3	22.6	0.6
20代 (81)	48.1	39.5	40.7	19.8	21.0	-
30代 (121)	46.3	34.7	43.8	21.5	29.8	-
40代 (94)	40.4	38.3	43.6	29.8	20.2	1.1
50代 (180)	49.4	42.8	35.6	29.4	15.6	-
60代 (216)	43.1	39.8	29.2	28.7	19.0	0.9
70代以上 (112)	42.0	31.3	26.8	29.5	19.6	3.6

注1) その他、わからない、無回答は略

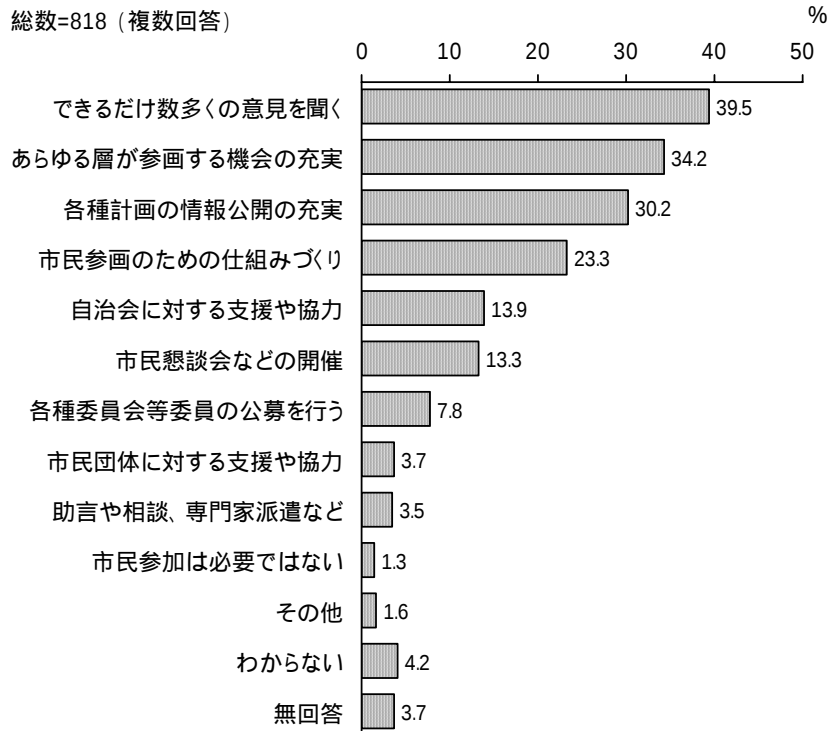
注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

市民参加の促進策(問 15)

あなたは、市政への市民参加をより活性化するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問15. 市政への市民参加活性化のための推進策

総数=818 (複数回答)



市政への市民参加の活性化のためには、「できるだけ数多くの市民の意見を聞く」の割合が40%と最も高く、次いで、「あらゆる層が参画する機会の充実」が34%、「各種計画の情報公開の充実」が30%とほぼ並んで続いており、広聴・広報の充実が求められています。

性別では回答傾向に大きな違いはなく、年代別では50代で「市民参画のための仕組みづくり」を挙げる割合が高くなっています。

□市民参加の促進策(問 15): 属性別

	できるだけ数多くの意見を聞く	あらゆる層が参画する機会の充実	各種計画の情報公開の充実	市民参画のための仕組みづくり	自治会に対する支援や協力	市民懇談会などの開催	各種委員会等委員の公募を行う	市民団体に対する支援や協力	助言や相談、専門家派遣など	市民参加は必要ではない
全体 (818)	39.5	34.2	30.2	23.3	13.9	13.3	7.8	3.7	3.5	1.3
男性 (299)	39.8	32.1	33.4	27.4	13.7	13.7	8.7	4.3	3.7	1.3
女性 (358)	39.1	37.7	28.8	21.2	11.2	13.7	7.8	2.8	3.9	1.1
20代 (81)	37.0	43.2	30.9	13.6	3.7	8.6	9.9	8.6	11.1	-
30代 (121)	47.1	36.4	34.7	25.6	5.8	7.4	6.6	4.1	4.1	1.7
40代 (94)	42.6	29.8	36.2	25.5	6.4	8.5	9.6	6.4	1.1	1.1
50代 (180)	38.3	33.9	35.0	31.7	12.2	12.2	7.8	2.2	3.9	1.1
60代 (216)	38.4	37.0	27.8	22.7	20.4	18.5	6.5	1.9	2.3	1.4
70代以上 (112)	35.7	28.6	19.6	16.1	27.7	18.8	8.9	3.6	0.9	2.7

注1) その他、わからない、無回答は略

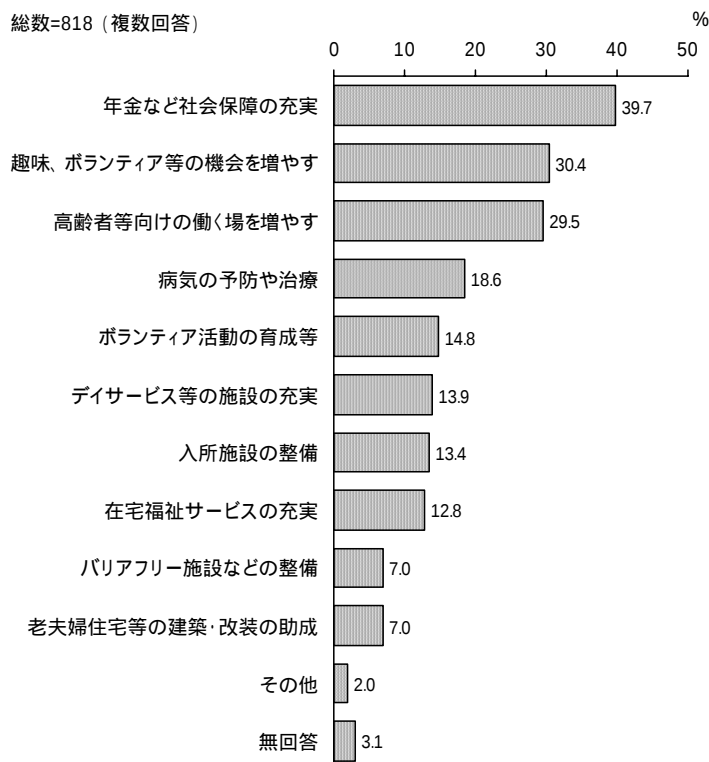
注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

(6) 保健・福祉について

高齢化社会対策(問 16)

あなたは、今後、社会の高齢化が進行する中で、どのような対応策を進めていくことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問16. 今後の高齢社会の対応策



高齢社会への対応策として、「年金など社会保障の充実」の割合が最も高く、40%となっています。次いで、「趣味やボランティア等の機会を増やす」「働く場を増やす」が30%で並んでいます。

性別では回答傾向に大きな違いは見られませんが、年代別では、年齢層が高くなるほど、「趣味やボランティアの機会」「年金など社会保障の充実」を挙げる割合が高くなっています。「働く場を増やす」は若い世代で割合が高く、一方、福祉施設や福祉サービスの充実については、年代による差は大きくなく、高齢者自身のニーズが経済の安定と生きがいに集まっていると読みとれます。

□ 高齢社会対策(問 16) : 属性別

	年金など 社会保障 の充実	趣味、ボラ ンティア等 の機会を 増やす	高齢者等 向けの 働く場を 増やす	病気の予 防や治療	ボランティ ア活動の 育成等	デイサー ビス等の 施設の 充実	入所施設 の整備	在宅福祉 サービスの 充実	バリアフリ ー施設な どの整備	老夫婦住 宅等の建 築・改装の 助成
全体 (818)	39.7	30.4	29.5	18.6	14.8	13.9	13.4	12.8	7.0	7.0
男性 (299)	40.8	33.8	31.1	17.1	14.7	13.0	11.7	14.0	7.0	7.4
女性 (358)	38.0	27.7	29.1	17.0	17.0	15.9	14.2	11.7	8.1	7.8
20代 (81)	28.4	22.2	39.5	19.8	18.5	16.0	13.6	8.6	18.5	8.6
30代 (121)	39.7	28.1	35.5	12.4	17.4	15.7	7.4	12.4	8.3	10.7
40代 (94)	34.0	29.8	36.2	14.9	17.0	17.0	10.6	13.8	6.4	6.4
50代 (180)	38.9	31.7	30.6	18.9	13.3	13.3	17.2	16.1	6.1	7.2
60代 (216)	45.4	38.0	21.8	22.7	13.9	9.7	13.4	11.1	6.0	5.6
70代以上 (112)	44.6	25.0	22.3	18.8	12.5	17.0	17.0	14.3	1.8	4.5

注1) その他、無回答は略

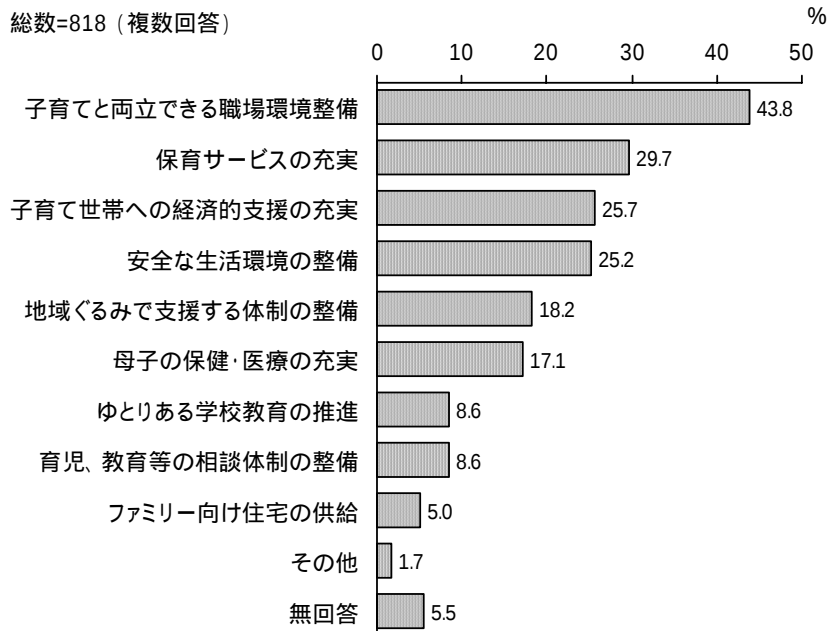
注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

子育て支援策(問 17)

あなたは、今後、社会の高齢化が進行する中で、どのような対応策を進めていくことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問17. 子育ての地域づくりのための施策

総数=818 (複数回答)



子育てしやすい地域づくりのための取り組みとして、「子育てと両立できる職場環境の整備」とする割合が44%と最も多く、次いで「保育サービスの充実」が30%となっています。子育てしながらでも働きやすい条件づくりが最も重要とされていることがわかります。これらに次いで、経済的支援、安全な生活環境整備がほぼ同じ割合で続いています。

性別では、男性で経済的支援、職場環境を挙げる割合が高い傾向があります。

年代別では、40代以上では職場環境の整備が40%を超えて第1位に挙げられているのに対し、30代以下では、職場環境と並んで安全な生活環境の整備(20代、30代)、経済的な支援(20代)、保育サービスや母子保健(30代)を挙げる割合も高くなっています。また、学齢期の子どもを持つ人の多い40代ではゆとりある学校教育の割合が高くなっています。

□子育て支援策(問 17): 属性別

	子育てと 両立できる 職場環境 整備	保育サー ビスの 充実	子育て世 帯への経 済的支援 の充実	安全な生 活環境の 整備	地域ぐる みで支援 する体制 の整備	母子の保 健・医療 の充実	ゆとりあ る学校教 育の推進	育児、教 育等の相 談体制の 整備	ファミリー 向け住宅 の供給
全体 (818)	43.8	29.7	25.7	25.2	18.2	17.1	8.6	8.6	5.0
男性 (299)	49.5	28.4	30.8	26.4	17.1	15.4	5.7	7.7	3.0
女性 (358)	38.3	31.3	24.3	24.0	20.9	17.6	10.1	8.9	6.7
20代 (81)	39.5	33.3	32.1	38.3	9.9	21.0	8.6	4.9	6.2
30代 (121)	31.4	35.5	29.8	32.2	10.7	23.1	8.3	8.3	6.6
40代 (94)	42.6	23.4	22.3	26.6	17.0	18.1	17.0	7.4	9.6
50代 (180)	49.4	38.9	26.1	18.3	21.1	11.7	5.6	10.0	3.3
60代 (216)	46.8	25.0	24.1	22.2	23.6	16.7	8.8	9.7	4.6
70代以上 (112)	48.2	20.5	22.3	23.2	18.8	18.8	7.1	8.9	1.8

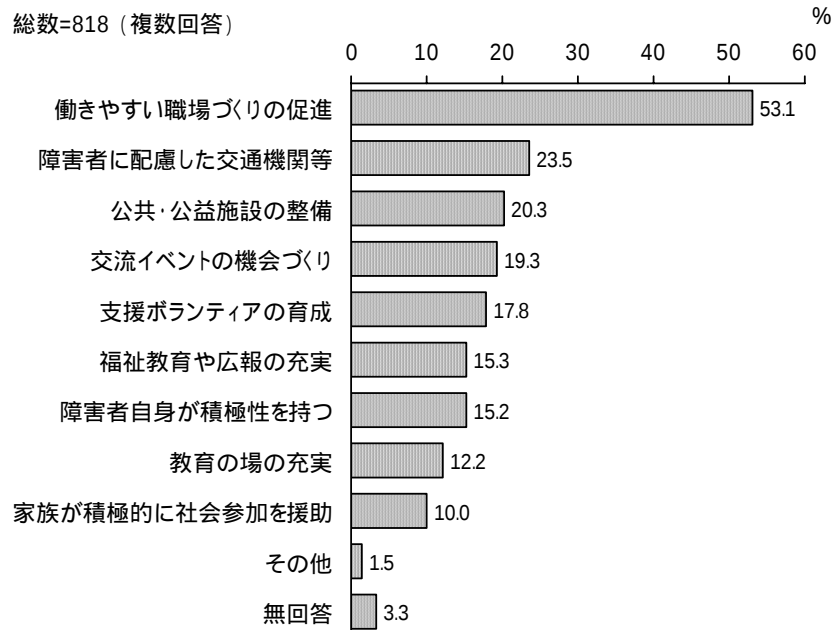
注1) その他、無回答は略

注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

障害のある人への支援策(問 18)

あなたは、障害のある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、特に大切なことはどのようなことだと思いますか。次の中から2 つまで選んで下さい。

問18. 障害者の社会参加のための施策



障害のある人の社会参加促進のための支援策として、半数以上の人「働きやすい職場づくりの促進」を挙げています。これに続き、「障害のある人に配慮した交通機関等の整備」「公共・公益施設の整備」などのバリアフリー化、「交流イベントの機会づくり」「障害のある人を支援するボランティアの育成」などを挙げる割合も比較的高くなっています。

性別では回答傾向に大きな違いは見られませんが、40代以下の層では、働きやすい職場づくり(20代、40代)や交流イベントの機会づくり(40代)、教育の場の充実(30代)、福祉教育や広報の充実(30代)を挙げる割合が高くなっており、自立と社会参加を重視した回答傾向が見られます。

□障害のある人への支援策(問 18): 属性別

	働きやすい職場づくりの促進	障害者に配慮した交通機関等	公共・公益施設の整備	交流イベントの機会づくり	支援ボランティアの育成	福祉教育や広報の充実	障害者自身が積極性を持つ	教育の場の充実	家族が積極的に社会参加を援助
全体 (818)	53.1	23.5	20.3	19.3	17.8	15.3	15.2	12.2	10.0
男性 (299)	52.8	22.7	20.4	18.1	19.1	15.7	15.7	10.7	13.4
女性 (358)	53.6	22.1	20.7	21.5	18.4	16.2	13.4	12.3	8.7
20代 (81)	59.3	37.0	23.5	12.3	8.6	18.5	9.9	13.6	4.9
30代 (121)	52.9	20.7	31.4	17.4	10.7	22.3	5.8	18.2	5.8
40代 (94)	58.5	13.8	20.2	24.5	19.1	13.8	11.7	16.0	13.8
50代 (180)	55.6	21.7	17.8	22.8	22.8	11.7	16.1	10.6	10.0
60代 (216)	49.1	23.1	17.6	18.1	20.8	17.6	19.0	9.7	12.5
70代以上 (112)	46.4	26.8	17.0	20.5	18.8	9.8	23.2	9.8	10.7

注 1) その他、無回答は略

注 2) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

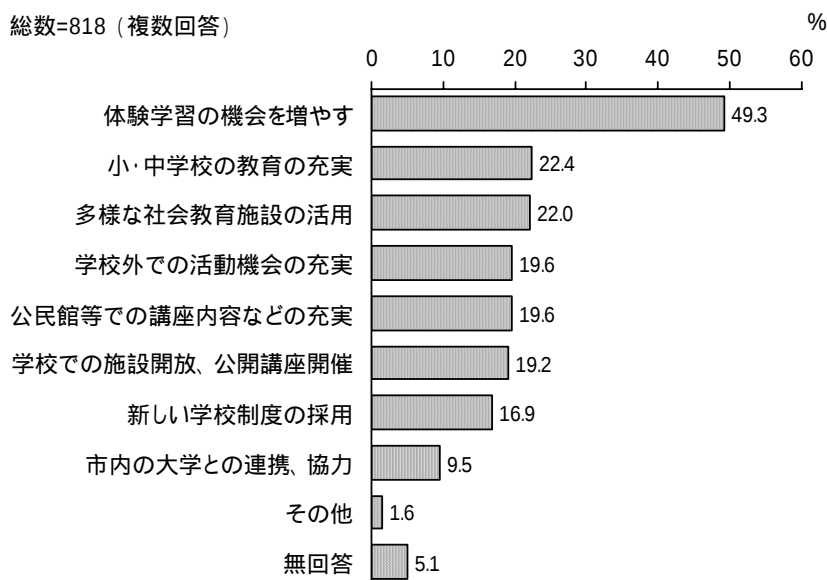
(7) 教育・文化について

生涯学習推進策(問19)

あなたは、今後、市民の生涯を通じた学習活動を充実するために、どのようなことが重要であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問19. 今後の生涯学習活動の充実策

総数=818 (複数回答)



生涯学習推進のための取り組みとしては、「体験学習の機会を増やす」とする割合がおよそ半数となっており、その他の項目がほぼ同じ程度の割合で続いています。

性別では大きな傾向の違いは見られませんが、年代別では学齢期の子どもを持つ人の多い30代で「小中学校の教育の充実」「新しい学校制度の採用」など、学校教育に関する取り組みを挙げる割合が高く、20代では「体験学習の機会」「学校外での活動機会」のほか、「市内の大学との連携」を求める意見が多くなっています。

□生涯学習推進策(問19):属性別

	体験学習の機会を増やす	小・中学校の教育の充実	多様な社会教育施設の活用	学校外での活動機会の充実	公民館等での講座内容などの充実	学校での施設開放、公開講座開催	新しい学校制度の採用	市内の大学との連携、協力
全体 (818)	49.3	22.4	22.0	19.6	19.6	19.2	16.9	9.5
男性 (299)	51.8	21.7	20.1	20.4	15.1	24.1	17.4	8.7
女性 (358)	48.0	23.7	22.3	19.3	22.1	16.5	16.8	10.6
20代 (81)	55.6	23.5	22.2	27.2	11.1	14.8	9.9	17.3
30代 (121)	45.5	31.4	20.7	21.5	16.5	14.9	22.3	9.1
40代 (94)	43.6	24.5	26.6	18.1	22.3	20.2	18.1	13.8
50代 (180)	47.2	20.6	23.9	19.4	23.3	23.9	15.0	8.9
60代 (216)	53.2	19.9	17.6	19.4	20.4	21.8	18.5	5.6
70代以上 (112)	50.9	19.6	25.0	13.4	19.6	15.2	16.1	9.8

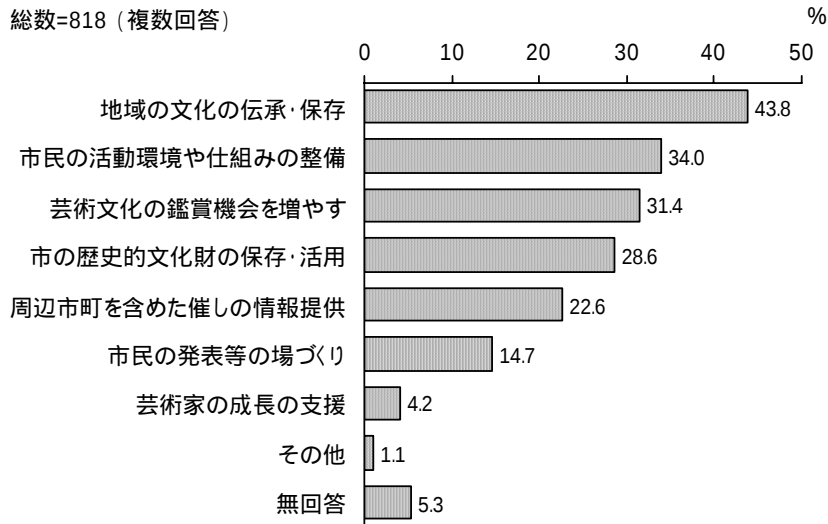
注1) その他、無回答は略

注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

市民文化の振興策(問 20)

あなたは、今後、市民文化の醸成に向けて、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問20. 今後の市民文化醸成のために重要なこと



市民文化醸成のために重要なこととして、「地域の文化の伝承・保存」が 44%で第 1 に挙げられており、次いで、「市民の活動環境や仕組みの整備」「芸術文化の鑑賞機会を増やす」「歴史的文化財の保存・活用」が同程度の割合で続いています。岩槻区は城下町、宿場町としての長い歴史と、そのなかで育まれた文化や伝統行事が今も親しまれており、これらを大切にしていくこととともに、市民の自主的な文化活動のための環境整備が求められています。

男女別では目立った傾向の違いはありません。また、年代別では地域文化の伝承・保存は 20 代、30 代で割合が高く、文化財の保存・活用は年齢が高くなるほど割合が高まり、70 代以上で最も高いといった傾向が読み取れます。

□ 市民文化の振興策(問 20) : 属性別

	地域の文化の伝承・保存	市民の活動環境や仕組みの整備	芸術文化の鑑賞機会を増やす	市の歴史的文化財の保存・活用	周辺市町を含めた催しの情報提供	市民の発表等の場づくり	芸術家の成長の支援
全体 (818)	43.8	34.0	31.4	28.6	22.6	14.7	4.2
男性 (299)	45.2	36.5	29.4	30.4	21.1	13.4	4.3
女性 (358)	41.6	34.4	32.7	23.7	25.1	16.8	4.7
20 代 (81)	54.3	33.3	29.6	22.2	17.3	16.0	2.5
30 代 (121)	52.1	24.8	30.6	30.6	22.3	14.9	5.0
40 代 (94)	43.6	37.2	34.0	23.4	20.2	17.0	5.3
50 代 (180)	38.3	38.9	34.4	26.1	25.0	16.7	5.6
60 代 (216)	41.2	37.5	31.9	29.6	26.9	14.4	1.4
70 代以上 (112)	42.0	28.6	25.0	36.6	18.8	9.8	7.1

注 1) その他、無回答は略

注 2) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

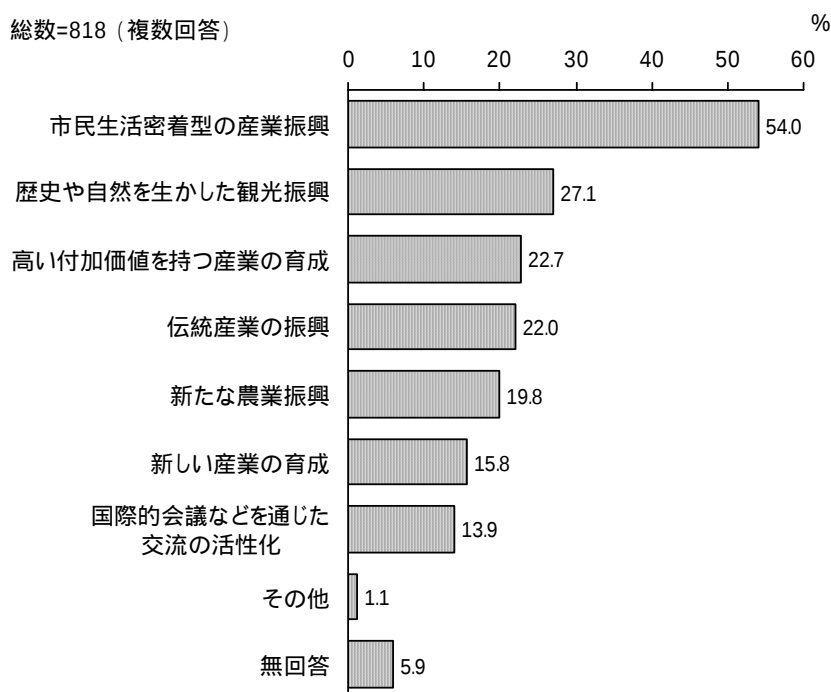
(8) 産業や都市基盤について

産業振興方策(問 21)

市の将来を考えた場合、あなたはこれからどのような産業振興に力を入れていけば良いと思いますか。次の中から 2 つまで 選んで下さい。

問21. 産業振興策の力点

総数=818 (複数回答)



産業振興策としては、「医療・福祉などのサービス産業や環境関連産業など市民生活密着型産業の振興」を挙げる割合が半数を超えて第 1 位となっています。のちの問 28 (まちづくりの重点) や問 30 (目指すべき将来像) でも環境や福祉が上位に挙げられており、市民の関心の高い産業分野が第 1 位になっているとも受け取れます。また、「岩槻区の歴史や自然などの特性を生かした観光振興」の割合が 30% 近くに達し、第 2 位となっています。

性別では男性で新しい産業の育成を挙げる割合が高くなっています。年代別では、30 代、40 代で市民密着産業の割合が高く、20 代、30 代で国際的会議やスポーツイベント等を通じた交流の活性化の割合が高くなっています。農業の振興は 60 代で、観光の振興は 70 代以上で高くなっています。

□ 産業振興方策(問 21): 属性別

	市民生活密着型の産業振興	歴史や自然を生かした観光振興	高い付加価値を持つ産業の育成	伝統産業の振興	新たな農業振興	新しい産業の育成	国際的会議などを通じた交流の活性化
全体 (818)	54.0	27.1	22.7	22.0	19.8	15.8	13.9
男性 (299)	48.2	25.8	25.8	24.4	20.1	21.1	14.7
女性 (358)	58.1	28.8	21.5	20.7	17.9	12.8	13.4
20 代 (81)	49.4	19.8	23.5	32.1	11.1	14.8	24.7
30 代 (121)	60.3	20.7	19.8	22.3	14.9	15.7	23.1
40 代 (94)	61.7	17.0	26.6	13.8	19.1	22.3	17.0
50 代 (180)	46.7	30.6	27.2	20.0	18.3	18.3	12.2
60 代 (216)	56.9	28.7	19.9	20.8	28.2	17.1	8.8
70 代以上 (112)	50.9	39.3	23.2	26.8	17.0	5.4	8.0

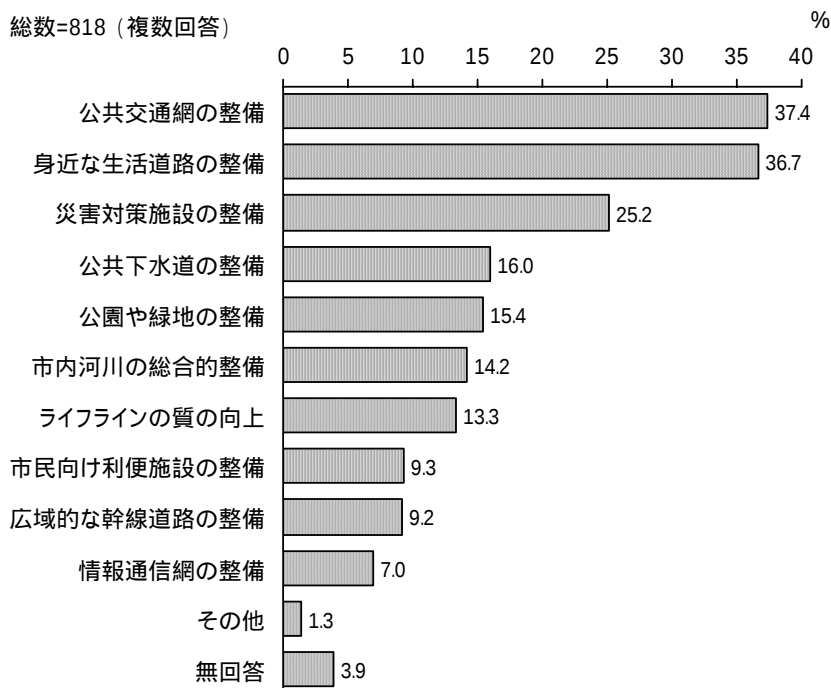
注 1) その他、無回答は略

注 2) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

都市基盤整備の重点(問 22)

あなたは、都市基盤の整備について、どのようなことに重点的に取り組む必要があると思いますか。
次の中から2つまで選んで下さい。

問22. 都市基盤整備の重点



都市基盤の整備の重点として最も多くの回答を得たのは、「公共交通網の整備」「身近な生活道路の整備」で、ともに約 37%となっています。地下鉄の延伸や日常生活でよく利用する道路の改善が期待されていると見ることができます。

男女別では目立った違いはなく、年代別でも大きな傾向の違いはありませんが、20代で公園緑地の整備が、30代で公共交通の整備が、50代で電気・ガス・上水道などライフラインの質の向上を挙げる割合が高くなっています。

□都市基盤整備の重点(問 22):属性別

	公共交通網の整備	身近な生活道路の整備	災害対策施設の整備	公共下水道の整備	公園や緑地の整備	市内河川の総合的整備	ライフラインの質の向上	市民向け利便施設の整備	広域的な幹線道路の整備	情報通信網の整備
全体 (818)	37.4	36.7	25.2	16.0	15.4	14.2	13.3	9.3	9.2	7.0
男性 (299)	33.1	39.1	24.7	16.4	15.4	16.4	12.7	7.4	13.0	8.4
女性 (358)	39.9	34.9	26.3	14.2	15.1	13.7	13.1	11.7	6.1	5.6
20代 (81)	39.5	35.8	24.7	7.4	23.5	6.2	12.3	12.3	8.6	11.1
30代 (121)	47.1	38.0	25.6	9.9	19.8	8.3	9.9	5.0	9.1	11.6
40代 (94)	40.4	30.9	26.6	18.1	17.0	12.8	14.9	10.6	11.7	6.4
50代 (180)	40.6	34.4	20.0	17.8	11.1	18.9	18.3	6.1	8.3	4.4
60代 (216)	31.5	38.0	27.8	19.9	13.9	17.6	11.6	11.1	8.8	7.9
70代以上 (112)	29.5	41.1	29.5	17.9	14.3	15.2	13.4	11.6	8.9	2.7

注 1) その他、無回答は略

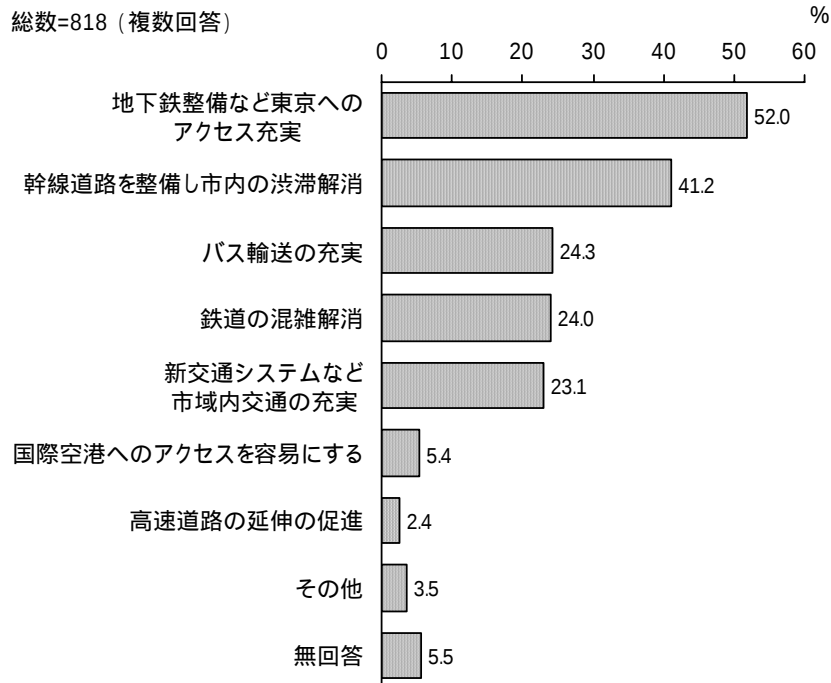
注 2) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

交通対策(問 23)

あなたは、交通問題に関して、どのような施策に重点的に取り組む必要があると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問23. 交通問題で重点的に取り組むべき施策

総数=818 (複数回答)



交通対策としては、「地下鉄などを整備し、東京へのアクセスを充実する」とした割合が52%で第1位となっており、次いで、「幹線道路の整備を進め市内道路の渋滞解消を図る」とする割合が42%となっています。問22でも公共交通と生活道路が上位に挙げられており、交通に関連しては、東京へのアクセス向上と円滑な道路交通が求められています。

男女別では大きな違いはありませんが、20代をはじめ若い年齢層で東京へのアクセス向上が、40代をはじめ中高年層で市内の渋滞解消が高くなっています。また、70代以上ではバス輸送や新交通システムの割合が高く、身近な地域を結ぶ公共交通が求められています。

□交通対策(問23): 属性別

	地下鉄整備など東京へのアクセス充実	幹線道路を整備し市内の渋滞解消	バス輸送の充実	鉄道の混雑解消	新交通システムなど市域内交通の充実	国際空港へのアクセスを容易にする	高速道路の延伸の促進
全体 (818)	52.0	41.2	24.3	24.0	23.1	5.4	2.4
男性 (299)	56.9	45.8	19.7	26.4	22.7	4.7	3.0
女性 (358)	50.6	37.4	25.1	22.3	24.9	5.6	2.5
20代 (81)	64.2	37.0	19.8	24.7	23.5	-	3.7
30代 (121)	54.5	44.6	24.0	28.1	19.0	2.5	5.0
40代 (94)	52.1	46.8	26.6	24.5	12.8	3.2	2.1
50代 (180)	53.9	44.4	17.2	26.1	22.8	7.2	1.7
60代 (216)	51.9	37.5	27.3	23.6	26.9	6.9	2.3
70代以上 (112)	40.2	40.2	33.9	15.2	28.6	8.0	0.9

注1) その他、無回答は略

注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

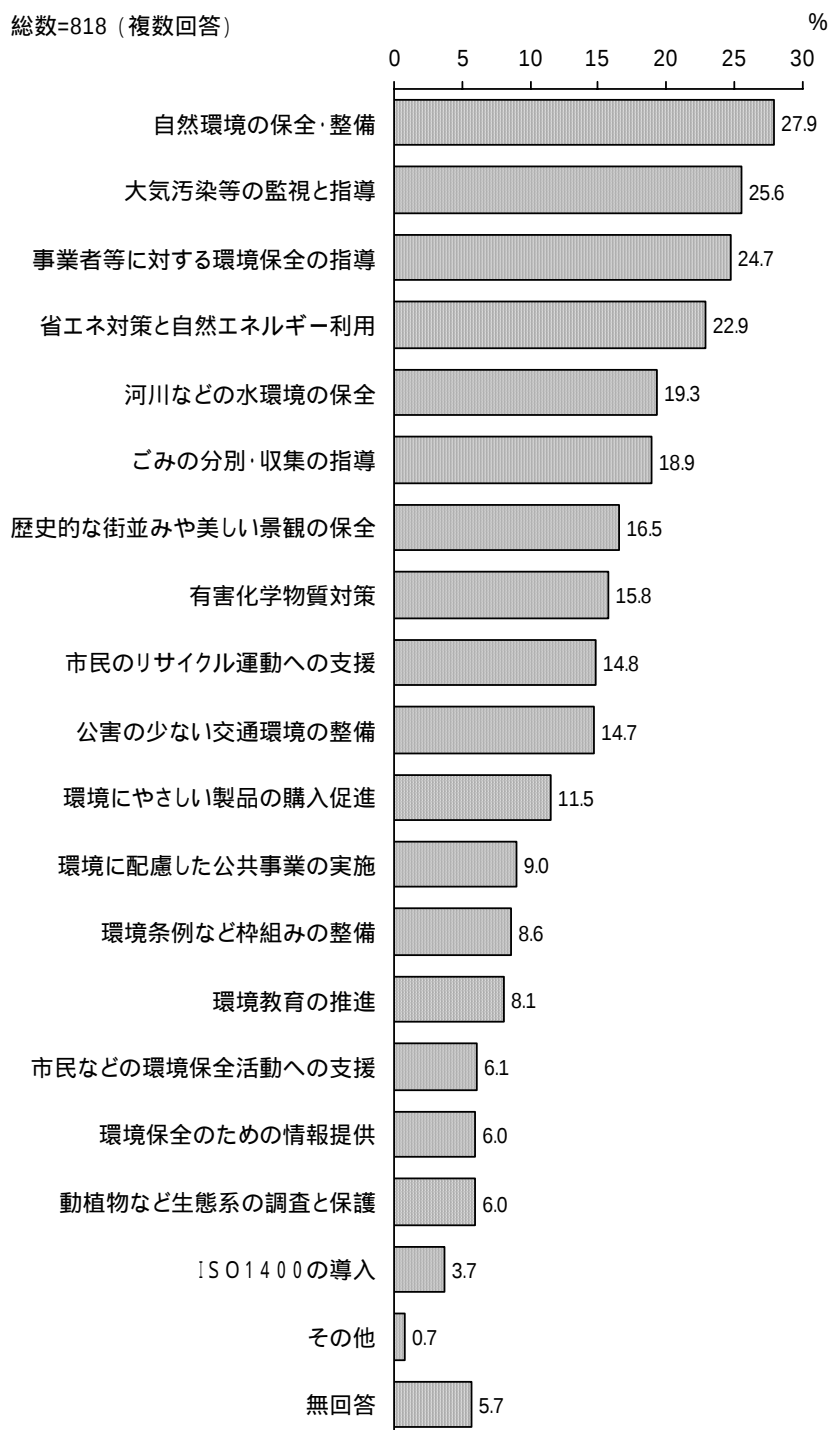
(9) 環境保全や防災について

環境保全対策(問 24)

あなたは、環境保全に関して、力を入れるべき施策はどのようなことだと思いますか。次の中から
主なものを3つまで選んで下さい。

問24. 環境保全施策の力点

総数=818 (複数回答)



環境保全のために力をいれるべき施策は広範囲に及びますが、このなかで、「自然環境の保全・整備」「大気汚染等の監視と指導」「事業者等に対する環境保全の指導」「省エネ対策と自然エネルギー利用」が20%を超えて上位となっています。

男女別では大きな違いはありませんが、男性で事業者等に対する環境保全の指導を挙げる割合がやや高くなっています。

年代別で40代以下の世代で、省エネ対策と自然エネルギー利用（20代、40代）、公害の少ない交通環境の整備（20代、30代）を挙げる割合が高くなっています。また、40代では有害化学物質対策の割合もやや高くなっています。

□環境保全対策(問24):属性別

	自然環境の保全・整備	大気汚染等の監視と指導	事業者等に対する環境保全の指導	省エネ対策と自然エネルギー利用	河川などの水環境の保全	ごみの分別・収集の指導	歴史的な街並みや美しい景観の保全	有害化学物質対策	市民のリサイクル運動への支援	公害の少ない交通環境の整備	環境にやさしい製品の購入促進	環境に配慮した公共事業の実施	環境条例など枠組みの整備	環境教育の推進	市民などの環境保全活動への支援	環境保全のための情報提供	動植物など生態系の調査と保護	ISO14000の導入
全体 (818)	27.9	25.6	24.7	22.9	19.3	18.9	16.5	15.8	14.8	14.7	11.5	9.0	8.6	8.1	6.1	6.0	6.0	3.7
男性 (299)	30.4	24.4	30.1	25.1	19.4	20.7	18.1	12.4	15.4	14.7	9.4	10.7	10.0	8.4	6.4	5.0	5.7	5.0
女性 (358)	26.0	25.1	21.5	22.3	17.3	18.7	16.5	18.2	15.4	13.7	14.2	8.9	7.0	8.1	5.9	6.4	6.7	2.5
20代 (81)	28.4	21.0	16.0	28.4	16.0	22.2	16.0	9.9	13.6	25.9	16.0	7.4	4.9	7.4	6.2	7.4	7.4	3.7
30代 (121)	32.2	19.0	23.1	26.4	18.2	19.0	21.5	16.5	10.7	19.8	13.2	11.6	8.3	9.9	5.0	4.1	7.4	5.8
40代 (94)	28.7	26.6	21.3	28.7	21.3	23.4	13.8	21.3	18.1	13.8	9.6	7.4	10.6	4.3	3.2	6.4	7.4	3.2
50代 (180)	30.0	26.1	24.4	25.0	20.6	17.8	16.1	13.9	16.7	15.0	10.6	9.4	7.8	5.6	7.2	6.1	3.9	2.8
60代 (216)	25.0	29.2	29.2	17.1	21.3	19.4	14.4	19.4	16.2	9.7	11.1	8.8	10.2	9.7	5.1	6.0	6.5	4.2
70代以上 (112)	25.9	27.7	29.5	18.8	14.3	16.1	19.6	9.8	12.5	10.7	11.6	9.8	8.0	11.6	9.8	7.1	4.5	2.7

注1) その他、無回答は略

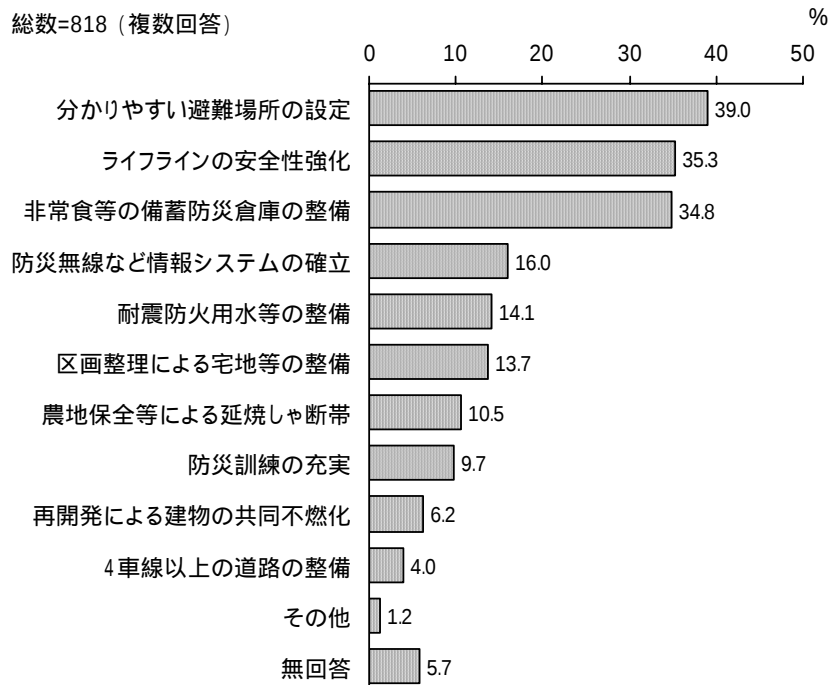
注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

災害に強いまちづくりの重点(問 25)

あなたは、今後、災害に強いまちづくりを進めていくため、どのようなことが重要であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

問25. 災害に強いまちづくり

総数=818 (複数回答)



災害に強いまちづくりのために、「分かりやすい避難場所の設定」を挙げる割合が40%で第1位となっており、次いで、「電柱の地中化などライフラインの安全性強化」「非常食等の備蓄防災倉庫の整備」が35%で並んで続いている。災害発生時への対応が上位を占めています。

性別では、男性で「区画整理等による宅地や道路、公園の整備」を挙げる割合がやや多いほかは目立った違いはありません。

年代別では40代以下の層で、備蓄倉庫の充実やライフラインの強化を挙げる割合が高いほか、50代で農地・緑地の保全などによる延焼しゃ断帯の形成を挙げる割合が高くなっています。

□災害に強いまちづくりの重点(問 25): 属性別

	分かりやすい避難場所の設定	ライフラインの安全性強化	非常食等の備蓄防災倉庫の整備	防災無線など情報システムの確立	耐震防火用水等の整備	区画整理による宅地等の整備	農地保全等による延焼しゃ断帯	防災訓練の充実	再開発による建物の共同不燃化	4車線以上の道路の整備
全体 (818)	39.0	35.3	34.8	16.0	14.1	13.7	10.5	9.7	6.2	4.0
男性 (299)	35.8	39.5	30.8	16.4	11.4	18.7	12.0	11.4	7.7	5.0
女性 (358)	38.3	35.8	37.7	16.8	15.6	11.7	9.8	8.7	4.7	3.9
20代 (81)	42.0	29.6	50.6	9.9	16.0	9.9	4.9	8.6	4.9	4.9
30代 (121)	40.5	43.8	41.3	12.4	18.2	7.4	5.8	5.8	6.6	5.0
40代 (94)	25.5	40.4	47.9	19.1	14.9	14.9	6.4	13.8	6.4	1.1
50代 (180)	35.6	33.3	27.2	17.8	14.4	15.6	16.1	8.3	8.9	4.4
60代 (216)	43.5	38.4	26.4	16.7	12.0	18.1	13.0	9.3	4.6	5.1
70代以上 (112)	43.8	26.8	34.8	17.0	12.5	11.6	9.8	14.3	5.4	2.7

注1) その他、無回答は略

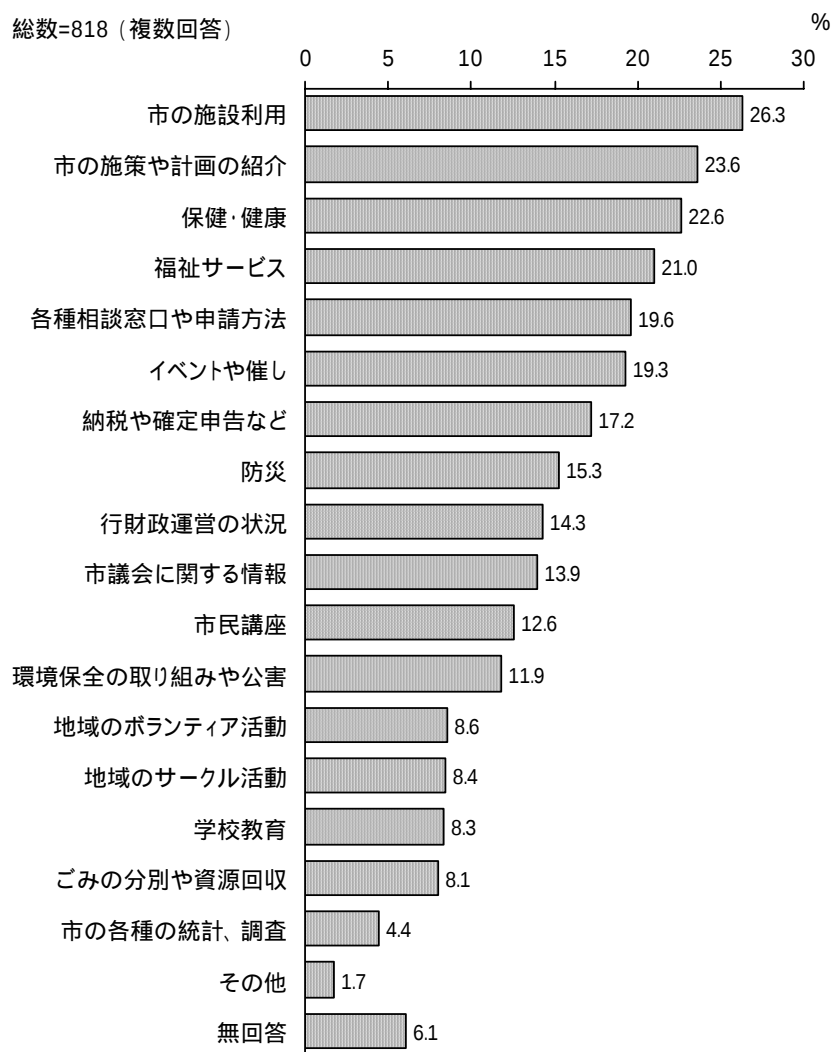
注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

(1 0) 市民と行政のコミュニケーションや行政運営について

充実を望む情報(問 26)

あなたは、市から「もっと提供して欲しい」と思う情報はどのようなものですか。次の中から主なものを3つまで選んでください。

問26. 市からもっと提供してほしい情報



市からもっと提供して欲しい情報としては、「市の施設利用についての情報」「市の施策や計画の紹介」「保健・健康に関する情報」「福祉サービスに関する情報」が20%を超えて上位に挙げられています。

性別では、男性で「市の施策や計画の紹介」「市の財政運営の状況」「市議会に関する情報」などを挙げる割合が高く、さいたま市行政区となったことから市政運営に関わる情報が求められているとも読み取れます。

年代別では、40代以下の若い層で、市の施設利用についての情報(20代、30代、40代)や学校教育についての情報(30代、40代)を求める割合が目立って高いほか、20代で納税に関する情報が、30代では、保健・健康、各種相談窓口、ごみ収集など行政サービス情報やイベント情報が、50代では市の施策や行財政運営の情報、各種相談窓口を挙げる割合が高くなっています。また、70代以上で

は福祉サービスについての情報を挙げる割合が目立って高くなっています。

□充実を望む情報(問26):属性別

	市の施設利用	市の施策や計画の紹介	保健健康	福祉サービス	法	各種相談窓口や申請方法	イベントや催し	納税や確定申告など	防災	行財政運営の状況	市議会に関する情報	市民講座	公害	環境保全の取り組みや	地域のボランティア活動	地域のサークル活動	学校教育	ごみの分別や資源回収	市の各種の統計、調査
全体 (818)	26.3	23.6	22.6	21.0	19.6	19.3	17.2	15.3	14.3	13.9	12.6	11.9	8.6	8.4	8.3	8.1	4.4		
男性 (299)	27.4	30.4	18.1	22.1	21.1	20.1	15.4	13.7	19.7	20.4	8.4	11.4	7.0	6.4	5.7	9.0	7.0		
女性 (358)	26.8	18.7	23.7	21.5	19.8	20.4	18.7	16.2	10.3	10.3	16.8	11.2	9.2	9.8	11.5	7.5	2.8		
20代 (81)	33.3	18.5	21.0	21.0	18.5	22.2	28.4	17.3	17.3	12.3	13.6	7.4	7.4	7.4	9.9	6.2	4.9		
30代 (121)	37.2	15.7	29.8	15.7	24.8	28.9	18.2	13.2	8.3	10.7	9.9	5.8	4.1	7.4	19.8	13.2	5.8		
40代 (94)	31.9	20.2	20.2	13.8	14.9	23.4	12.8	19.1	10.6	8.5	17.0	8.5	6.4	9.6	20.2	8.5	4.3		
50代 (180)	16.1	32.8	18.3	21.7	25.6	11.1	16.7	11.1	20.6	16.7	15.0	12.8	9.4	8.9	3.9	6.7	6.1		
60代 (216)	25.0	23.6	24.1	20.8	18.1	20.8	19.0	14.4	13.0	17.1	12.5	15.7	13.0	10.2	3.7	6.5	2.8		
70代以上 (112)	25.9	25.9	23.2	33.0	12.5	14.3	10.7	22.3	14.3	14.3	8.0	16.1	5.4	5.4	1.8	7.1	3.6		

注1) その他、無回答は略

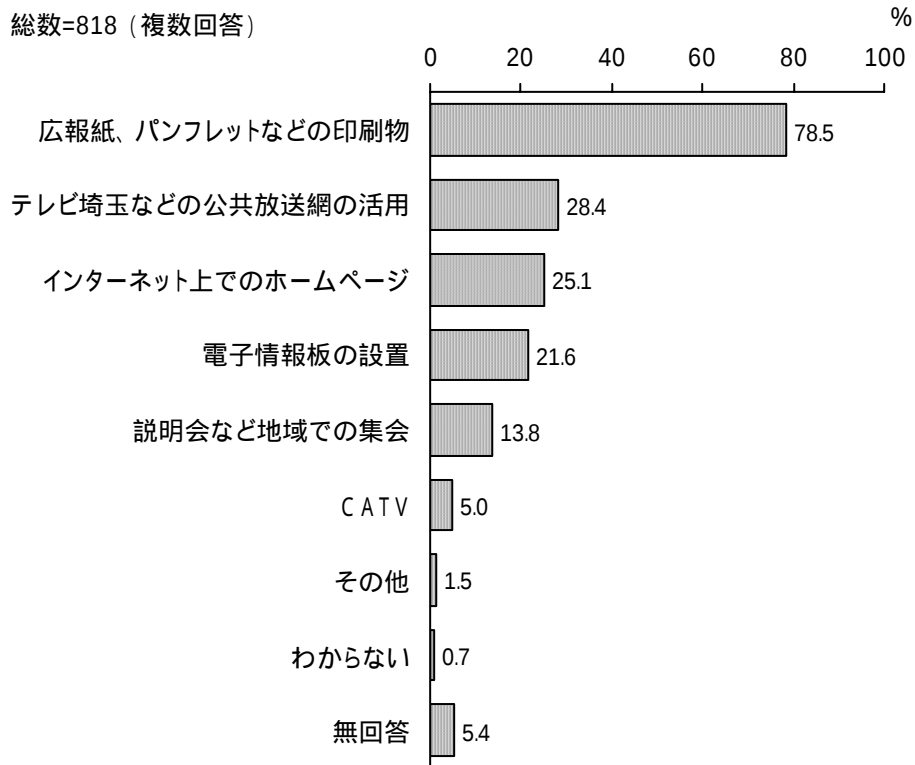
注2) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

有効な情報提供手段(問 27)

今後、市の情報を伝える手段として、どの方法がよいと思いますか。次の中から主なものを2つまで選んでください。

問27. 有効な情報提供手段

総数=818 (複数回答)



市が情報提供するための有効な手段としては、「広報紙、パンフレットなどの印刷物」がおよそ 80% の割合となっています。公共放送網やホームページ、電子情報板は 20~30%、CATV は 5% で、情報提供の方法は多様化していますが、印刷物による情報提供が最も期待されています。

このような全体傾向に対し、年代別では違いがあり、印刷物が第 1 位であることは共通していますが、40 代以下の若い層でホームページを挙げる割合が高く、50 代以上の層では、公共放送網(50 代)、説明会など地域での集会(60 代、70 代以上)を挙げる割合が高くなっています。

□ 有効な情報提供手段(問 27): 属性別

	広報紙、パンフレットなどの印刷物	テレビ埼玉などの公共放送網の活用	インターネット上でのホームページ	電子情報板の設置	説明会など地域での集会	CATV
全体 (818)	78.5	28.4	25.1	21.6	13.8	5.0
男性 (299)	76.3	28.4	29.8	21.4	17.7	6.0
女性 (358)	81.0	27.7	23.2	23.5	9.8	4.7
20 代 (81)	74.1	17.3	46.9	27.2	6.2	4.9
30 代 (121)	78.5	18.2	42.1	26.4	4.1	6.6
40 代 (94)	81.9	26.6	37.2	14.9	7.4	5.3
50 代 (180)	70.0	37.2	23.9	21.7	13.3	6.1
60 代 (216)	82.9	31.9	14.4	19.4	19.9	5.1
70 代以上 (112)	87.5	29.5	3.6	24.1	25.0	0.9

注 1) その他、わからない、無回答は略

注 2) 網掛けは、全体よりも 5 ポイント以上構成比の高い回答

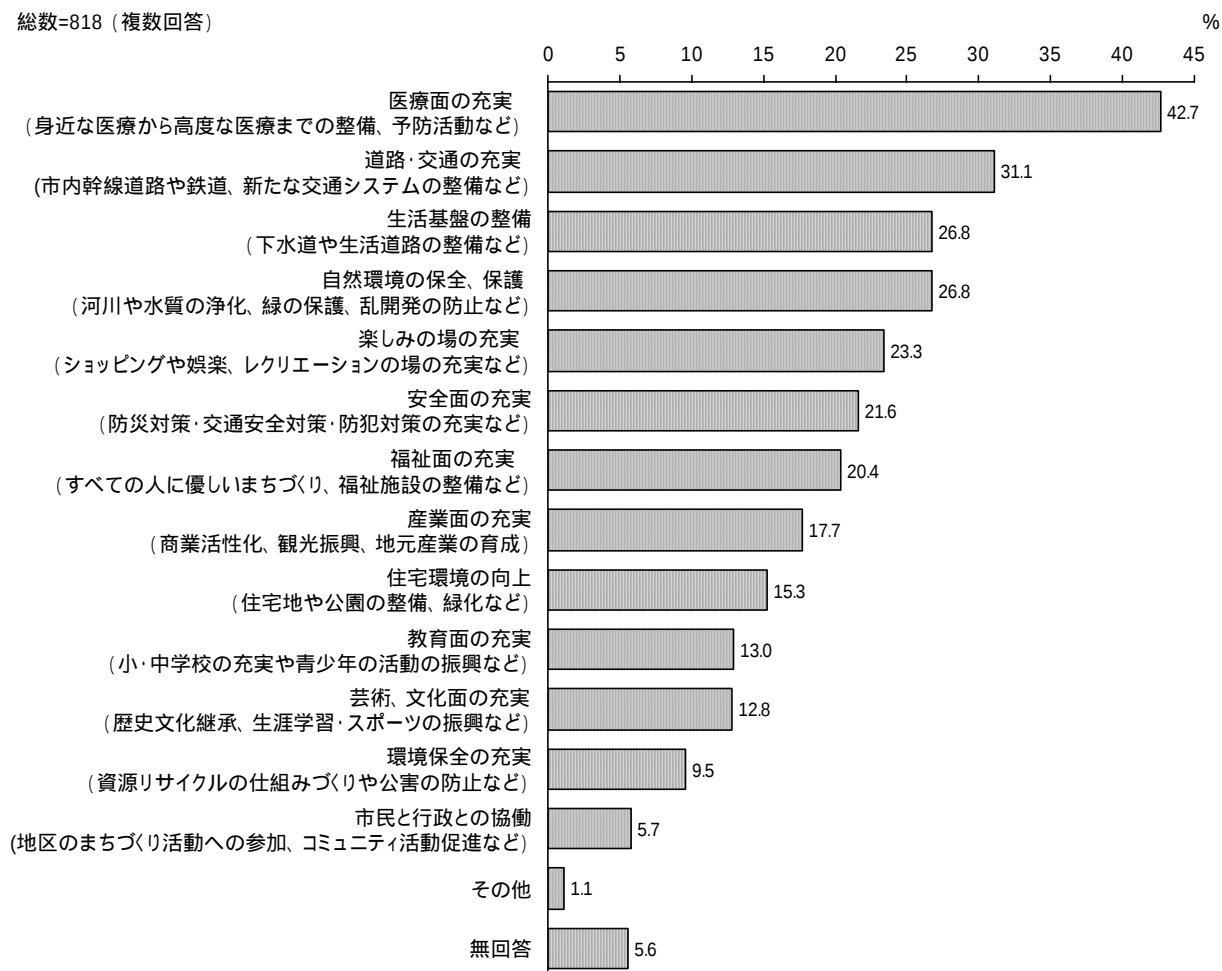
(1 1) 区のまちづくりについて

区のまちづくりの重点(問 28)

今後、岩槻区のまちづくりを進める上で、特に重視すべき点は何でしょうか。次の中から3 つまで選んで下さい。

問28. 区のまちづくりで特に重視すべき点

総数=818 (複数回答)



今後、岩槻区のまちづくりを進める上で、特に重視すべき点として、「医療面の充実」を挙げる割合が43%で第1位となっており、次いで、「道路・交通の充実」が31%で続いています。これらは生活環境の「利便性」の領域で満足度の低かった項目であり、区民から充実が求められているといえます。

これらに次いで、「下水道や生活道路など生活基盤の整備」「自然環境の保全・保護」「楽しみの場の充実」「安全面の充実」「福祉面の充実」などが20%以上の割合で続いています。このうち、生活基盤や楽しみの場は、生活環境の評価において満足度の低かった項目であり、今後のまちづくりにおける取り組みが求められています。

性別では男性で産業面の充実の割合が高いほかは、目立った違いはありません。

世代別では20代、30代の若い層で楽しみの場の充実を挙げる割合が高く、学齢期の子どもを持つ人の多い40代で教育を、60代で医療を、70代以上で市民と行政との協働を挙げる割合が、それぞれ高くなっています。

□区のみちづくりの重点(問28): 属性別

	医療面の充実	道路・交通の充実	生活基盤の整備	自然環境の保全、保護	楽しみの場の充実	安全面の充実	福祉面の充実	産業面の充実	住宅環境の向上	教育面の充実	芸術、文化面の充実	環境保全の充実	市民と行政との協働
全体 (818)	42.7	31.1	26.8	26.8	23.3	21.6	20.4	17.7	15.3	13.0	12.8	9.5	5.7
男性 (299)	41.5	33.8	29.4	28.8	20.4	20.1	19.4	23.1	16.4	12.4	15.7	8.7	6.4
女性 (358)	41.1	30.7	25.4	25.7	27.1	23.5	21.5	15.1	13.4	12.6	12.3	10.9	5.6
20代 (81)	33.3	38.3	29.6	23.5	33.3	19.8	21.0	11.1	19.8	16.0	17.3	7.4	6.2
30代 (121)	35.5	35.5	21.5	24.8	43.0	24.8	18.2	17.4	19.8	14.9	9.9	6.6	1.7
40代 (94)	42.6	26.6	29.8	26.6	25.5	20.2	14.9	10.6	16.0	23.4	12.8	13.8	3.2
50代 (180)	46.1	34.4	26.7	31.1	17.2	20.6	22.2	21.1	13.9	8.3	16.1	5.6	4.4
60代 (216)	48.1	28.7	27.8	29.6	19.0	20.4	19.9	19.4	13.4	12.0	10.6	11.6	7.4
70代以上 (112)	43.8	24.1	27.7	19.6	11.6	25.0	27.7	22.3	11.6	9.8	11.6	12.5	11.6

注) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

まちづくりの資源(問 29)

今後、魅力あるまちづくりを進める上で、活用できる、活用すべきと思われる地域の資源（地域の歴史や文化、自然などに関わる“もの”“ことがら”など）はありますか。名所、旧跡、施設、人物など、何でも結構です。以下の欄に4つまで、自由にご記入下さい。

岩槻区の魅力あるまちづくりを進めるうえでの地域資源として、752 件の意見が寄せられました。資源として多くの人から挙げられたのは、岩槻城・岩槻城址公園・城下町と人形であり、次いで、元荒川、慈恩寺や時の鐘などが続いています。魅力あるまちづくりのために、岩槻区に根付いた歴史文化的資源と岩槻区の自然の象徴である元荒川を生かしていくことが、多くの区民から期待されています。

□まちづくりの資源(問 29):5 件以上のもの

意 見	件 数
岩槻城、岩槻城址公園、城下町	210
人形	101
元荒川	46
慈恩寺	40
時の鐘	30
槻の森、岩槻文化公園	29
寺社、仏閣	28
太田道灌	20
河川、河川敷	19
久伊豆神社	13
遷喬館	11
岩槻祭り	10
公園	10
桜など樹木や花	8
スポーツ施設	8
黒門	7
花火大会	7
歴史	7
十三重ノ塔	6
民俗文化センター	6
文化	6
ワッツコミュニティーセンター	6
岩槻駅、駅前商店街	5
公民館	5
埼玉スタジアム2002	5
大学	5
図書館	5
福祉施設	5
街並み(蔵づくりなど)	5

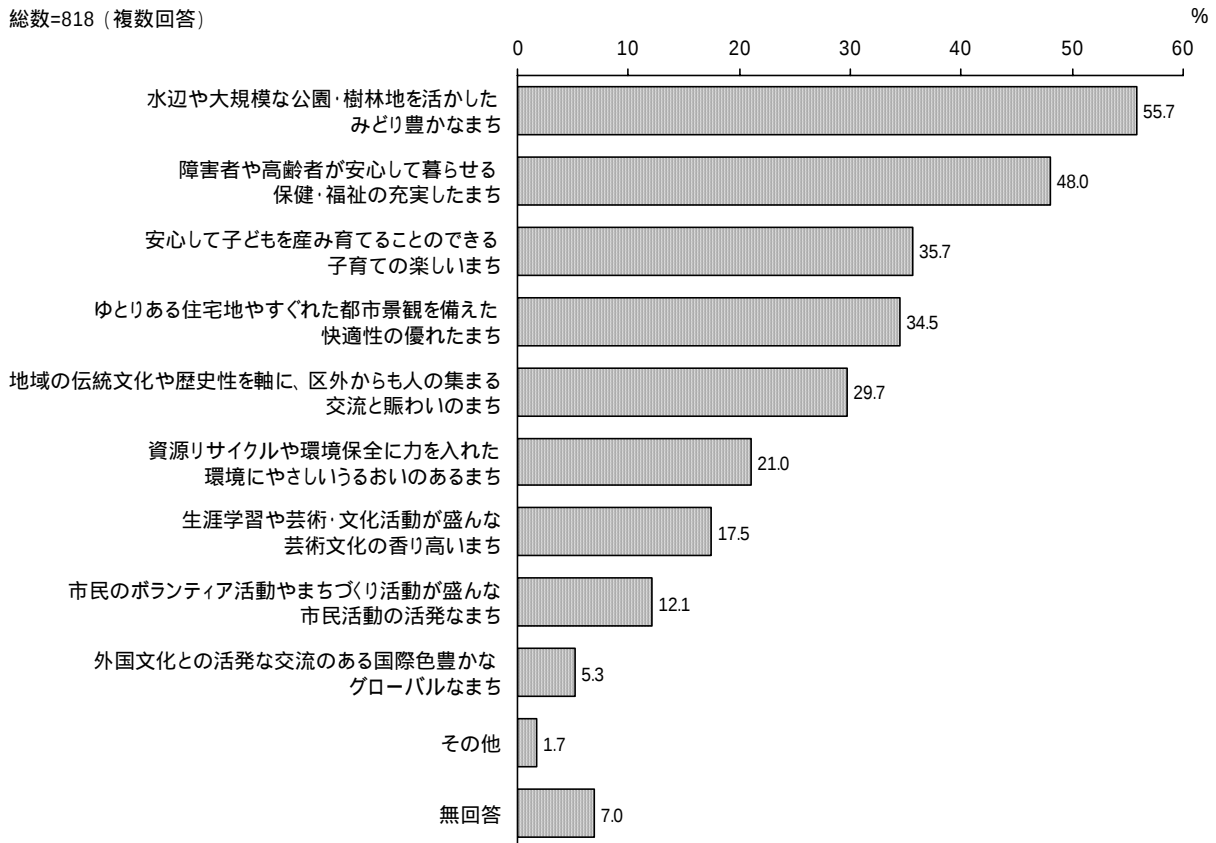
(一部、区外の施設も含まれています)

目指すべき区の将来像(問30)

あなたは、岩槻区の将来像としてふさわしいものはどれだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いと思われるものを3つまで選んで下さい。

問30. 区の将来像

総数=818 (複数回答)



区の将来像としては、「みどり豊かなまち」を挙げる割合が56%で第1位、「保健・福祉の充実したまち」が48%で第2位となっています。これらに続いて、「子育ての楽しいまち」「快適性の優れたまち」「交流と賑わいのまち」が挙げられており、全体としては、豊かな緑に包まれ、安心して住まうことのできる福祉と、生き生きとした交流のあるまちが求められていることがうかがえます。

性別では男性で「交流と賑わいのまち」を挙げる割合が高くなっています。

年代別に見ると、いずれの年代でも「みどり豊かなまち」「保健・福祉の充実したまち」が高い割合を占めていることは共通しており、とくに、60代以上では「保健・福祉の充実したまち」が、50代では「みどり豊かなまち」が高い割合となっています。一方、全体では中位にあった「子育ての楽しいまち」は30代でとくに高く、また、「快適性の優れたまち」は20代と40代で高くなっています。このほか、20代では「グローバルなまち」という新しい方向性がやや高くなっています。

□ 目指すべき区の将来像(問 30): 属性別

	みどり豊 かなまち	保健・福 祉の充実 したまち	子育ての 楽しい まち	快適性の 優れた まち	交流と 賑わいの まち	環境にや さしいう るおいの あるまち	芸術文化 の香り高 いまち	市民活動 の活発な まち	グローバ ルなまち
全体 (818)	55.7	48.0	35.7	34.5	29.7	21.0	17.5	12.1	5.3
男性 (299)	56.9	45.5	33.4	35.8	34.8	20.7	18.4	14.7	4.3
女性 (358)	55.6	46.9	37.4	35.2	27.1	21.5	18.2	11.5	5.3
20代 (81)	55.6	40.7	48.1	50.6	12.3	24.7	18.5	11.1	11.1
30代 (121)	51.2	38.8	49.6	38.8	28.9	25.6	14.9	8.3	6.6
40代 (94)	50.0	46.8	33.0	45.7	27.7	22.3	14.9	10.6	4.3
50代 (180)	62.2	47.8	34.4	32.2	31.7	18.9	27.2	10.6	3.3
60代 (216)	58.8	54.2	30.1	28.7	32.9	21.3	13.9	15.7	5.1
70代以上 (112)	51.8	54.5	25.9	23.2	37.5	16.1	14.3	12.5	4.5

注) 網掛けは、全体よりも5ポイント以上構成比の高い回答

(1 2) 自由意見

自由意見では、地下鉄延伸の早期実現や道路、歩道の整備、バリアフリー化、街灯の整備、医療の充実、駅前に集積する商業の活性化を求めるものなど、日常生活に関係の深い意見が多く寄せられています。

また、緑や自然を大切にしたいまちづくり、城下町としての歴史や人形のまちの伝統を踏まえたまちづくりや観光の振興などの意見も多く、岩槻区の特徴である緑と歴史を軸としたまちづくりへの期待が示されています。

□自由意見一覧

意見数が1件のものは件数の表記を略したため空欄

意見の概要	意見数
まちづくり全般	
・自然を残しつつ、住みやすいまちづくりをしてほしい。	7
・人形の町にふさわしいまちづくりを期待。	7
・歴史を生かしたまちづくりを。	6
・緑豊かなまちに。	5
・安心、安全なまちに。	4
・住み良いまちにしてほしい。	4
・周囲から岩槻区に住みたいと思われるまちづくりを。	4
・地域の特性を生かし、「人形」だけではないものも考えていきたい。	3
・活気ある区おこしを期待。	2
・教育的、福祉的に発展することを望む。	2
・まちが持っている歴史と伝統の掘り起こしと継承に力を入れる。	2
・地域で子ども達を育てる環境づくりを最重点にしてほしい。	
・子ども達にとって落ち着きのある良識のある区になるように。	
・まず魅力あるまちづくりには、青少年の育成が必要だと思う。	
・市政、まちづくり、市の行事に若者が参加できる機会をもっと増やす。	
・これからは若い人が住みやすい子育てしやすいまちづくりを。	
・若い世代の将来的な安心、雇用や子育て、教育などのために力を注いでほしい。	
・もっと若者に元気になってもらいたい。	
・子どもから老人、全ての人が仲良く平等に暮らしていける環境をつくってほしい。	
・産業の発展と優れた居住性を有する、将来的に安定したまちづくりを。	
・市内の遊休地を積極的に活用し、産業、観光について模索する必要がある。日本で一番の特徴をもったまちに。	
・自然豊かな落ち着いた雰囲気を残しながら、発展的で活気のある文化都市への変容を期待する。	
・素晴らしい自然、風景と文化を大切にほしい。	
・スポーツを通して活気あるまちづくりをしてほしい。	
・タワーなどの箱物より、生活のソフトウェアを充実させてほしい。	
・若者と高齢者が共存していける区に。	
・高齢者や障害者にとって住みやすい所に。	
・城下町であったので、自然環境を保ち高い建物を建てないでほしい。	
・岩槻城の整備によって、市民の心の拠りどころをつくる事が重要。	
・自然を残し美しい街並みにすれば人も集まる。	
・街並みをきちんと構想してほしい。	
・歴史のまちと言いながらその保全は後手。将来どうしたいのかという理念が見えてこない。	
・岩槻の良いところをつぶさないでほしい。	
・今の岩槻は地方都市特有の沈滞したイメージ。人の息吹が感じられるまちに。	
・歩きで生活するまち。	
・煙草のポイ捨てのないまち、犬猫のフンの処理の啓蒙。	
・自然エネルギーの活用など、地球にやさしいまちづくりを願う。	
・すべてにおいて中途半端。都心に近いのに遅れすぎ。今後に期待する。	
・何か中心に一つ 誇りの持てる まちづくりを。	
・区民が中心のまちづくりを。	
・すべての人を満足させることは無理なので、ターゲットを絞っていくのも一つの手段かと思う。	
・心豊かな潤いのあるまちづくりを目指してほしい。	
・新しい都市として特徴を生み出せる可能性があるの、これに立脚して踏み出してほしい。	
・城下町のゆったり穏やかなところは高齢者に有り難い。	

・ 乱開発防止で、美しい田舎を。	
・ さいたま市の色分けを(浦和:行政・教育、与野:行政・商工業、大宮:商工業・娯楽、岩槻:教育・文化)。	
・ 旧城下町という意識が強く、街区整理に消極的。特色を活かしながら積極的なまちづくりを。	
・ 皆が友達になれるような岩槻区にしてほしい。	
・ 外れの地区は、施設不足や市街への交通が不便。均等に繁栄できればと思う。	
都市基盤	
土地利用	
・ 公共下水道の整備を。	6
・ 岩槻駅周辺の再開発を。	3
・ 駅に近い市街化調整区域は、市街化区域にすべき。	
・ 駅西口の区画整理事業を早期に進める。	
・ 区画整理は住民の意見を聞いてほしい。公平ではない。	
・ 区の7割近くが調整区域。緑地帯はよいが発展がない。文化的にしてほしい。	
・ 岩槻区は農業の美的感覚において稀な所なので、開発せずに生産緑地等を残してほしい。	
・ 空地进行をすべて駐車場にしてほしい。	
・ 空店舗を公共用に借り上げる。	
・ 使用していない市有地を花作りのために貸してはどうか。	
・ 東岩槻から南平野にかけての利用法がはっきりしない。	
・ もう箱物はいらない。NTTの跡地は大切に保存してほしい。	
道路・交通	
・ 地下鉄の早期実現を。	22
・ 道路、歩道の整備を。	11
・ 岩槻駅のバリアフリー化を進めてほしい(エレベーターの設置等)。	10
・ 道が狭く危険。広くしてほしい。	7
・ 本数を増やすなど、バス輸送を充実してほしい。	6
・ 岩槻駅舎を整備してほしい。	3
・ 岩槻、東岩槻駅の両方向改札の実現を。	3
・ 市内の交通機関の充実を。	3
・ 東武野田線の大宮駅 JR 乗り入れを。	2
・ 使いやすい自転車置場を駅前に整備してほしい。	2
・ 埼玉スタジアム開催日には、岩槻駅からのバス便がほしい。	2
・ 東岩槻駅工事を早く進めてほしい。	
・ 施設の利用をしやすいように市内バスを増やしてほしい。	
・ もう少し計画を練り直して、地域に即した道路作りを。	
・ 通学道路の白線の整備。	
・ 城北の道路に木を植えて、きれいにしてほしい。	
・ 国道16号～県道岩槻幸手線を結ぶ道路を早急に竣工してほしい。	
・ 元荒川土手道路の利用方法がはっきりしない。生活道路ならもっと広くしてほしい。	
・ 地下鉄の誘致より16号線等幹線道路の有効活用を考えるべき。	
・ 122号を早く開通してほしい。	
・ 城町2丁目に信号機を取り付けてほしい。	
・ 懐かしい外観の建物を引き立たせるような道路、環境の整備を。	
・ 鉄道、バスの65歳以上に対するバスがほしい。	
・ 現在蓮田駅を利用しているが、バスが増えれば岩槻駅を利用したい。	
・ 今回の合併は鉄道延伸が一つの条件です。その条件を裏切らないように。	
・ 終電時間帯の増発やJRとの接続を図り、東武野田線をもっと便利にしてほしい。	
・ 都内に行く時など、交通が不便。	
・ 野田線東岩槻踏切の立体交差、岩槻橋の架替、箕輪橋～上野線の東側への延伸を望む。	
・ 一般マイカーゾーンを設ける(岩槻駅)。	

・駅前通りの危ない交差点にミラーを設置してほしい。 ・加倉の渋滞を何とかしてほしい。 ・交通ルールの徹底を。 ・公民館や役所への交通が不便。 ・公共施設の配置や地域間の交通は地域格差を無くして整備してほしい。	
生活環境	
環境衛生	
・区でシステム作りをしてくれれば、ごみのない環境の良い区になるのではと思う。 ・ゴミ収集日のカラス対策をしてほしい。 ・ゴミゼロ運動は全員出る必要はないと思う。袋の無駄。 ・ゴミ袋の有料化を。そして高齢者世帯は玄関前の収集に。 ・生ゴミの収集は8時半となっているのに、8時前に来ることがあって困る。時間を守ってほしい。 ・野焼きや道路のゴミなど条例で取り締まるべき。 ・ペットボトル収集が2週に1度というのは不満。効率の良い収集とは思えない。 ・ペットボトルや缶ビンはカゴではなく、ビニールに入れて出した方がよい。カゴからあふれている時がある。 ・ボイ捨てが多い。 ・綾瀬川が汚い。時々見廻ってほしい。 ・元荒川が大変汚れている。きれいにしたい。 ・河川の水質・緑の保護のために河川敷を有効利用してほしい。 ・南平野の貯水池の周りの雑草を刈ってほしい。 ・CO₂低減活動。電気の使用量を減らす。 ・資材置場等が多く、景観が悪い。排水も汚染される。 ・工場等から異臭がすることがあるので、不安になる。環境保全に対する監視や指導を行ってほしい。 ・上水道に不純物を混入させないでほしい。 ・野放しのペットが増えており、その取締りを強化してほしい。	
公園・緑地	
・公園を増やしてほしい。	5
・自然を守りたい。	3
・元荒川の河川敷を整備してほしい(散歩道、畑などに)。 ・川辺を整備して、水生植物園をつくったり水遊びが出来るようにしてほしい。 ・水遊びの出来る公園がほしい。 ・スケールの大きいお花の公園づくりを。 ・安心して遊べる大きな公園がほしい。 ・住宅地の中に気軽に遊べる場所がないので、改善してほしい。 ・岩槻公園にドッグランをつくってほしい。 ・自然を楽しめる場がほしい。 ・自然に逆らわない環境づくりを。	3
防犯・防災	
・街灯を増やしてほしい。	10
・安全面(防犯、防災、交通安全対策)の強化、充実を。	6
・地域のパトロールを強化してほしい。 ・子どもが安全に学校に通い、遊べるようにしてほしい。 ・安全に通勤できるよう、バスを増やしたり街灯を増やしたりしてほしい。 ・警察力の充実と警官の増員を考えてほしい。 ・高齢の一人暮らしなので、防犯巡回の日があると安心。 ・老朽化した家などが増えている。市内の安全は大丈夫か。 ・元荒川の治水対策が遅れている。早期整備が必要。 ・区内で火災が起きた場合、消防車は見沼区から出動されるとのこと。なぜ区内の消防車ではないのか。 ・お昼のサイレンや火災のサイレンを鳴らしてほしい。	2

・ 岩槻区内の 119 番が大宮につながるの是不合理。	
・ 徳力の水害対策を早急にしてほしい。	
福祉・医療	
地域福祉	
・ 福祉面に力を入れてほしい。	
・ 福祉、介護などのサービス産業を充実させてほしい。	
・ 障害児施設をもっと充実させてほしい。	
・ 合併してから障害者に対する助成金が減ったとのこと。一人ひとりの事をしっかりと考えるまちづくりを。	
・ 介護の聞き取りが通り一遍で不誠実。	
高齢者福祉	
・ 老後も安心して生活できるようにしてほしい。	2
・ 高齢者用のレクリエーション施設を設置してほしい。	2
・ 往診に行くにもタクシーでは交通費がかかるので、市内循環バスがあるとよい。	2
・ タクシーの割引券や福祉タクシーの利用券があるとよい。	
・ 高齢者だけの世帯の増加に伴う危険からの回避を考える。	
・ 介護保険を使わずに元気で生活しているお年寄りを市報に載せて(区ごとの人数)ほしい。	
・ 現在ケアハウスに入居中だが、医療費が3割かかるので、低所得者に優遇措置がほしい。	
・ 老人施設にもポストを設置してほしい。	
・ お年寄りが増えてきているので、通信網をうまく使い、守ってほしい。	
・ まちの所々に椅子を設置してほしい。	
・ 老人を一人にさせないまちに。	
・ 特養ホームの増加を。	
・ 高齢者にもっと仕事の場を作してほしい。	
・ 一人暮らしの老人世帯にはあまり情報が流れてこない。	
・ 高齢化社会に向けての方針を教えてほしい。	
児童・母子福祉	
・ 小さな子どもを預けられる所を増やしてほしい。	3
・ 子育てしながら働きやすいまちを目指してほしい。	2
・ 市立の幼稚園をつくってほしい。	
・ 子育て支援に力を入れて頂いていることは、とてもありがたい。	
・ 一時保育は曜日指定の利用ではなく、仕事の都合に合わせて利用できたら嬉しい。	
・ 保育士が足りず、園児に目が行き届いていない印象がある。	
・ 幼稚園の月謝がさいたま市に統一されるのは、納得いかない。	
・ 子どもの療養費(疾患名の増加)。	
保健・医療	
・ 適切な医療が受けられる施設をつくってほしい。(大学病院、区立病院など)	9
・ 医療機関の充実を。	3
・ どの病院も救急車を受け入れるようにしてほしい。	
・ 医療手当ても3年生までにしてほしい。	
・ 土日に診察してくれる耳鼻科や眼科を増やして欲しい。	
・ 小児科は必ず診察してほしい。	
・ 高齢化社会になるため、医療施設を近くに設置してほしい。	
・ 高齢者医療の充実を。	
教育・文化	
学校教育	
・ 教育環境の充実を。	3
・ 学校教育の中で道徳の時間が少ないように思われる。	
・ 子ども達が自然を学べるようにしてほしい。	
・ 教職員は子供と一緒に登校すべき。教職員の駐車場は廃止すべき。	

・小中学校での英会話を充実させてほしい。他の地域の人から羨ましがられるような取り組みを。 ・子供の人間性を高める教育に力を入れてほしい。 ・教育者にも教育をしてほしい。	
社会教育	
・親の教育が必要。 ・青少年の育成を。 ・いのちを大切に作る心豊かな子どもに育つ環境を、区民皆で作りたいもの。 ・いろいろな世代が交流できる場所の設置を。 ・新しい児童館がほしい。 ・児童センターでのイベントを再開してほしい。 ・岩槻区の図書館の運営時間の改善を。 ・公共施設の名称は、市民から募集したものが良いと思う。 ・岩槻区の施設は点在し、交通手段も不便なので有機的に機能していない。	4
社会体育	
・スポーツ施設を増やしてほしい。 ・槻の森の使用料が高い。 ・スポーツをする高齢者が多いので、学校などを開放してほしい。 ・「槻の森スポーツセンター」をホームにするフットサルチームができれば良いと思う。 ・岩槻区はグランドゴルフについて非常に遅れている。空地などを活用してもらいたい。	
産業振興	
商業	
・駅前にデパート、大型スーパーなど買い物ができる所がほしい。	9
・人形を生かし、特徴ある商環境をつくっては。(人形博物館、人形コンテストなど)	5
・駅前周辺の商業地域の活発化を。	3
・春日部の方が近いので何かと春日部を利用している。東岩槻にも利用できるものがほしい。 ・ベンチャー企業や最先端技術を有する企業を誘致する。 ・「人形のまちさいたま市」として世界に人形を送り出せる大きな産業に育てる。 ・環境関連産業などを充実させてほしい。 ・体に安全な食品を生産している所や小売業等を保護してほしい。 ・高齢者が働ける企業などで活気と豊かさを。 ・地産地消に力を入れてほしい。 ・散歩している途中に一休みできるレストランがあるとよい。 ・もっとおいしいお店を作してほしい。 ・美園駅とスタジアム間に商業施設を誘致し、近辺に大規模工業団地を造成する。	3
観光・レクリエーション	
・花火大会がなくなり残念。復活させてほしい。	5
・歴史文化や伝統産業等で、個性豊かな観光地化の推進を。	4
・自然環境(親水、花など)の豊かさで集客できるまちに。	3
・岩槻城が築かれると、もっと岩槻区をアピールできるのでは。	2
・城下町のイメージを生かしてほしい。	2
・緑と桜と元荒川の自然で観光地化の推進を。	2
・遊び楽しめるレクリエーション施設をもっと増やしてほしい。	2
・産業祭やフリーマーケットができないか。 ・イベント等が大宮浦和方面で多い。高齢者は参加しづらい。 ・アウトレットモールのような施設があれば楽しみも増えるし、区が活性化するのは。 ・観光用の城づくりなんてナンセンス。自己満足の世界。 ・さいたま市の観光マップがあればよい。 ・有名な建築物を市外の人にも知ってもらえるよう努力してほしい。	

行財政	
・ 広報の充実を。 ・ 決定事項に対する詳細が分からない。HP など情報公開の充実を。 ・ 情報が遅く、後手に回っている感がある。 ・ 市会議員の年金額削減と人員整理を。 ・ 行政サービスの充実が必要。 ・ 前市長や市職員の天下りを禁止すべき。 ・ 若い市職員を全国の市町村に研修に行かせ、見聞を広める。 ・ 区の職員は、身近な問題に情熱を持って事に当たってほしい。 ・ 独創性を持って市民の為、子どもの未来の為にまちづくりに励む役人がいない。 ・ 公務員に教育を。 ・ 役所の対応にもう少し微笑みがほしい。 ・ 対応が悪いので、便利な役所になるよう改善してほしい。民間に経営させてはどうか。 ・ よろず相談窓口を設け、市民の良き援助者になってほしい。 ・ 日本一行政に厳しく区民に親切な役所を目指し、他府県から人が移り住む区にしたい。 ・ 公共機関の入口に要望受付ポストを設けては。 ・ 役所での待ち時間に子供を遊ばせておけるスペースがほしい。 ・ 岩槻区役所でも手続きが済むようにしてほしい。 ・ 自治会をもっと支援し、市民の実態に触れるべき。 ・ 岩槻区としての地域の良さを生かしつつ他区との連携を深め、効率的な行政運営がなされるよう願う。 ・ 政策運営などで失策があった時は、責任を明確化し、公表する。 ・ 「平和宣言都市」「スポーツ宣言都市」のスローガンをなくしたのは理解に苦しむ。説明してほしい。 ・ 合併後の不公平感について心の通った説明もない。区役所は市民のためにあることを態度で示すべき。 ・ 長期間、同一市長なので良さがなくなった。悪さが目立つ。 ・ NPO や NGO の市政への参加ができるとよい。 ・ 一部の地域だけでなく、全般において統一的な行政の手が届くように。 ・ 行政と住民の距離を縮める方法や、若い人達にもっと区政に関心を持ってもらう方法を考えてほしい。 ・ 税金の無駄遣いをなくしてほしい。 ・ 税金が高すぎる。 ・ 国民健康保険が高い。 ・ 借金に頼った公共事業をやめて、財政を健全化すべき。 ・ 公的料金すべての引き下げを。 ・ 一部の人、集団の利益になるような事業を行わないでほしい。税金はすべての人に還流されるべき。 ・ 浦和区ばかりが栄えるのではなく、バランス良く予算配分をしてほしい。 ・ 箱ものはつくらないでほしい。	4
その他	
・ 都市ガスにしてほしい。 ・ 駅前に噴水がほしい。 ・ 畑を作りたいが、希望してもなかなか当たらない。 ・ 最寄駅は東川口。交通の便も悪く、学校も遠いなど、税金を払っているだけでメリットがない。 ・ 岩槻区の火葬場は岩槻区民には無料にすべきだ。 ・ 自治会を通しての募金を中止してほしい。強制的な感じがする。 ・ 挨拶しない人が多くなった。 ・ 馬込に住んでいるが、生活圏が蓮田で、学校も蓮田が近い。いっそ蓮田にしてほしい。 ・ MOOTAINAI 運動の推進。 ・ 岩槻という名前をなくさないでほしい。 ・ 合併して何が良くなったのか分からない。区民の声を吸い上げ、善処を。 ・ 合併して水道代、税金が上がっただけで良い事がない。	5 4 2

・合併してからスポーツ施設等の予約が取りにくくなったなど、不便になった。	6
・合併したら不便になった。以前の岩槻がよい。	5
・合併してから、公民館などの職員の対応が悪くなった。改善を。	2
・合併したことでサービスが低下している。改善を期待。	2
・さいたま市になって高齢者の楽しみが減った。農園や花火の廃止など。	2
・社会福祉、医療福祉が後退している印象が強い。	2
・税金が高くなり戸惑っているが、何年後かには住みよいまちになっていくことと思う。	
・合併して斎場も有料に。良い事がまったくない。	
・岩槻区は遅れている。さいたま市に期待している。	
・区内のコミュニティ施設が、時間に融通のきかない割り切り運営になってきた。	
・ワッツの遊べる時間を長くしてほしい。以前より使いづらくなった。	
・岩槻の良さを残し、さいたま市の利点を吸収してほしい。大きなものに飲み込まれるだけというのは避けたい。	
・合併が失敗だったということのないよう良い所は残してほしい。	
・合併後、岩槻区は隅に追いやられなければいいと思う。	
・合併後、浦和が中心となっている気がする。商業的には大宮を優先して発展させるべき。	
・合併してから「気をつけて帰りましょう」の音が音楽だけになってしまったのはなぜ？	
・合併によって保育園利用の幅が広がって良かった。	
・合併で個人的にはリスクが増したが市として発展すると思うので、小さなリスクで大きなリターンを期待する。	
・合併後のデメリットに対する具体的な施策と、納得のいく説明を市民にすべき。	
・合併の決定は不公正だった。住民投票をやり直すべき。	
・合併後、良くなったという声は聞かれないが、保守的な土地柄のせいもあると思う。地元意識が強いのでそれを利用しつつ今後展開すればよいと思う。	
・合併に伴い小児医療センターが他に移動するという噂を耳にし、不安に感じている。	
・合併後、草加中央図書館を利用できなくなった。改善を望む。	
・やはり春日部市との合併が良かったのでは？	
・アンケートは必ず区政に反映させてほしい。	4
・今後もアンケートを実施してほしい。	4
・アンケート結果の情報公開を。	3
・アンケートは分かりやすいものにしてほしい。よくわからなかった。	3
・今回のアンケートは区役所行きではなかったので、情報売買ではと返送が不安だった。	
・これを機に岩槻のことを再認識したいと思った。	

資 料
調 查 票
